

Pleiades FX

FMT-600FX (SSD)

ユーザーズマニュアル

本製品(ハードウェア及びソフトウェア)が外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物質等(または役務)に該当する場合には日本国外に輸出する際に日本国政府の輸出許可が必要です。
許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

Ethernetは米国XEROX Corporationの登録商標です。

Windows® XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他一般に会社名、および製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事は禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容で、万一不審な点や誤り、記載漏れなどでお気づきの点がございましたら、弊社営業所までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求に関しましては、(3)にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への障害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示は守らないと生命または身体に重大な被害が発生する可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は守らないと軽傷程度の被害または物損事故の発生する恐れが想定される内容を示しています。



禁止

この表示は一般的な取扱いで「禁止」とする内容を示しています。



一般指示

特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をして下さい。



警告



人命に関わる業務や、高度な信頼性を必要とする業務には使用しないでください。

本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器及び高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどにこの装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。



発火注意

煙や異臭、異音が生じたまま使用しないでください。

万一、煙や異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをACコンセントから抜いてください。その後弊社までご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因になります。



感電注意

針金や金属片を差し込まない。

装置のすきまから針金や金属片などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



感電注意

濡れた手で触らないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されていると、感電の危険があります。

装置内部に水などの液体を入れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されていると、感電の危険があります。



感電注意

雷が鳴り出したら、本装置や電源コードに触れないでください。また、周辺機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電の恐れがあります。

注意



発火注意



感電注意

電源プラグを差したまま取り扱わない。

装置の手入れや、インターフェースケーブルの取り付け / 取り外しは、電源プラグをACコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触れると、感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



破裂注意

リチウム電池を火に近づけたり、水に浸けたりしない。

本製品にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると、爆発するおそれがあります。



毒物注意

液晶ディスプレイ内部の液体を飲んだり、触れたりしないでください。

液晶ディスプレイ内部の液体が口に入った場合は、すぐうがいをしてください。また皮膚に付着したり目に入った場合には、すぐに流水で15分以上洗浄してください。その後、直ちに医師に相談してください。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない。

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、塩素、アンモニアなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。本製品のプリント版が腐食し、故障及び発煙、発火の原因となるおそれがあります。



発火注意

本機内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入ると、回線がショートして火災の原因となるおそれがあります。



ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきんなどで本体を拭かないでください。ケース変形や変色を起こすことがあります。また殺虫剤なども、変形・変色の原因となることがあります。

本体が汚れたときは、やわらかい布を使用して表面についた汚れを拭き取ってください。汚れがひどい時は、中性洗剤を薄めたもので拭き、その後必ず水拭き、乾拭きをてください。液晶表示部の汚れはきれいな布で乾拭きしてください。



液晶表示部に先のとがったもの(シャープペンやコンパスなど)で表面を叩いたり、引っかいたりしないでください。傷がついたり、破損の原因になります。

また液晶表示部に物を落としたり、ぶついたりすると線が出るなど、破損の原因になります。



分解禁止

装置を分解・改造しないでください。
分解した状態で使用・保管すると故障や感電など事故の原因になります。



装置内部に水などの液体や金属類が入った状態で使用しないでください。
また薬品に触れるような場所での使用や保管は避けてください。
故障の原因となります。



寒いところから暖かいところに急に装置を移動させると、表面や内部に結露が発生することがあります。結露が発生した状態で電源を入れないでください。故障の原因になります。このような場合は電源を入れる前に、十分に水分が蒸発するまで時間をおいてください。



ACアダプタおよびACアダプタのケーブルは、人が踏んだりつまずいたりする恐れのある位置に設置しないでください。けがの原因になります。



紙や布など冷却効果を妨げるものでACアダプタを覆わないでください。火災の原因になります。
ACアダプタは、通気性の良い場所に設置してください。



装置付属の専用ACアダプタ以外(他のACアダプタやバッテリーパックなど)は使用しないでください。故障、火災、破壊の原因となります。



ACアダプタの電源プラグは、差し込みっぱなしにしておくと、ホコリが溜まってしまいます。そこに湿気が加わると「トラッキング現象」をおこし、発火・焼損につながる場合があります。定期的にACアダプタの電源プラグを抜いて、ホコリが溜まっていないか点検をし、乾いた布等で、ホコリを取り除いてください。

トラッキング現象とは、

コンセントに電源プラグを差したままですと、ほこりや湿気によって栓刃間に微小電流が流れ、長期にわたって繰り返されると、通常は電気を通さない電源プラグの刃と刃の間の絶縁材が炭化し、電気の筋道(トラック)をつくってしまいます。トラッキング現象の起きた電源プラグをそのまま使用していると、やがては大量の電流量が流れるようになり、最後にはショートし、発火する恐れがあります。

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

❗ LCDのバックライトは、低温時に頻繁にON/OFFを行うと、寿命が短くなる場合があります。このような場合は常時点灯する運用をお願いします。

❗ この装置の時刻は、毎月1回程度の割合で確認してください。また高い時刻の精度を要求するようなシステムで使用する場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することを推奨します。

❗ 本装置の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。

・ 本装置は、ディスクや、CFカード、USBフラッシュメモリなどにデータを格納することが出来ますが、データの消失、破損に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。またこれらの大切なデータが、第三者に漏洩しないよう、お客様の責任で管理してください。

・ 本製品は、インターネットへの接続や無線の使用が可能ですが、セキュリティに関しては、お客様の責任で不正なアクセスがないよう、管理してください。弊社では、本装置経由で不法な侵入や、データの流出等があっても、一切の責任を負いかねます。

❗ 本製品は、高速処理が可能であるため。高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に関しては、下記の点にご注意ください。

1. 製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等による適切なアクセス管理をしてください。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発および製造等で使用しないで下さい。

空白頁

目次

1. 概要	1-1
1.1. 機器構成	1-2
1.2. 製品内容	1-2
1.3. H/W構成	1-2
1.4. オプション一覧	1-3
2. 製品仕様	2-1
2.1. 規格および外観	2-1
2.1.1. 規格	2-1
2.1.2. 外観	2-2
2.2. 本体仕様	2-3
2.3. 外付けオプション仕様	2-4
2.4. 環境条件	2-5
2.5. 有寿命部品	2-6
2.6. 保守期間	2-6
3. 各部の名称とはたらき	3-1
3.1. PLEIADES FX FMT-600 本体	3-1
3.1.1. ACアダプタ	3-3
3.1.2. 電源スイッチ(図3-2)	3-4
3.1.3. 液晶表示部	3-4
3.1.4. LED表示	3-4
3.1.5. タッチパネル	3-4
3.1.6. 各種接続コネクタ	3-5
3.1.7. PCカードスロット	3-9
3.1.8. スピーカー	3-10
3.1.9. 接地用端子	3-10
3.1.10. 輝度調整用つまみ	3-10
3.2. オプションの接続と説明	3-11
3.2.1. 109キーボード	3-11
3.2.2. K/B-500N	3-12
3.2.3. シリアルポートへの接続	3-12
3.2.4. 帳票入力装置(バーコードリーダ)	3-15
3.2.5. キーボードI/Fバーコードリーダ	3-16
3.2.6. LANケーブル	3-16
3.2.7. PCカード	3-17
3.2.8. CRTディスプレイ	3-20
3.2.9. LINE OUT/MIC IN	3-21
3.2.10. USB	3-22

4. 装置の設置	4-1
4.1. 設置環境	4-1
4.2. 壁掛け設置	4-2
4.2.1. 壁掛けの準備	4-2
4.2.2. 壁掛けプレートの設置	4-3
4.2.3. 壁掛け金具を装置へ取り付け	4-4
4.2.4. 壁への設置	4-5
4.3. チルト台への設置	4-7
4.3.1. チルト台準備	4-7
4.3.2. <i>Pleiades FX</i> への取り付け	4-8
4.3.3. チルト台角度調節	4-9
4.3.4. 保守スペース	4-10
5. ソフトウェアの設定	5-1
5.1. 接続	5-1
5.2. システムのセットアップ	5-1
5.3. ドライバのバックアップ	5-1
5.4. 各種設定	5-2
5.4.1. タッチパネルのキャリブレーション	5-2
5.4.2. タッチパネルのタッチ音の設定	5-4
5.5. 再セットアップ	5-5
5.5.1. 準備	5-5
5.5.2. 再セットアップ	5-5
5.5.3. ドライバの設定	5-6

1. 概要

PleiadesFX FMT - 600は、Windows® XP搭載、耐環境・オールインワン型タッチパネル端末という特長を持ち、薄型大画面で高速表示を実現して、デザインと操作性を一新した製品です。

【主な特長】

薄型デザイン

店舗や公共施設などで、ご利用いただけるよう明るいカラーとなり、本体の厚さ60mmという薄型化を実現しました。

画面の大型化と表示性能向上

高信頼・長寿命の産業用12インチTFT液晶を使用し、専用のグラフィック・アクセラレータで高速、26万色表示が行えます。

タッチパネルによる簡単操作

タッチパネル標準装備により、画面に触れるだけで操作できます。

豊富な設置バリエーション

専用スタンド/壁掛けブラケット(共にオプション)により、デスクトップや、壁掛け設置が行なえます。

豊富な周辺機器インタフェース

シリアル2CH、キーボード1CH、USB 2CH、PCカードスロット2CH標準装備

優れた耐環境性

温度条件が0～40℃、湿度条件が20～80%に加えて、防塵でIP30に準拠しています。

幅広いネットワーク接続性

LAN(10BASE-T/100BASE-TX)はもちろんのこと、無線LANなど幅広いネットワークに対応しています。

1.1. 機器構成

タイプ一覧

NO.	品名	型名	型番	備考
1	PleiadesFX	FMT-600FX512 (SSD)	FA-7102	メモリ:512MB OS:Windows® XP Professional

1.2. 製品内容

下記構成品があることをご確認ください。

- PleiadesFX本体 ……1台
- ACアダプタ ……1個
- 束線バンド(ケーブル固定用) …1個
- ユーザズマニュアル(本書) …1部
- WindowsXP Professional ……1部

1.3. H/W構成

PleiadesFX H/W構成

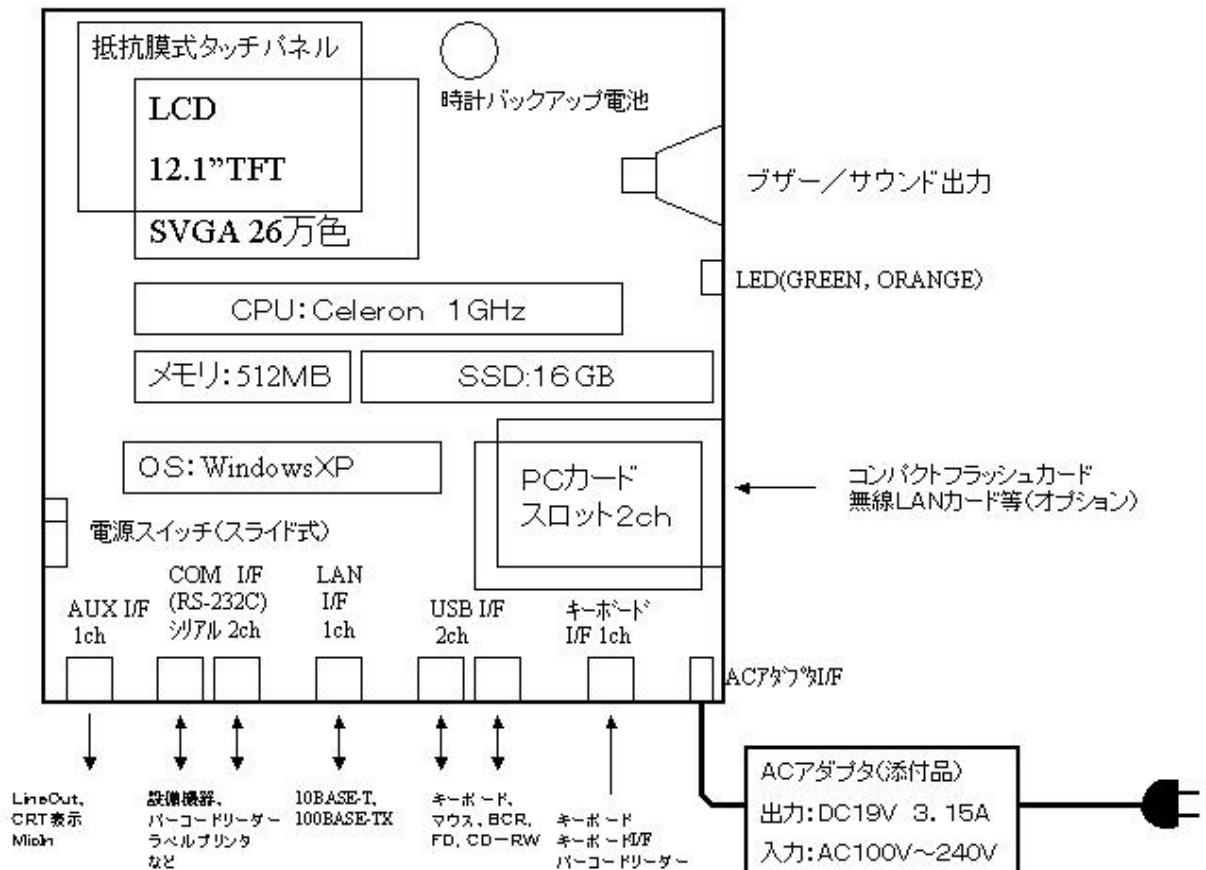


図1-1

1.4. オプション一覧

No	品名	シリーズ名/モデル名	型番	備考
キーボード				
1	標準 キーボード	K / B - AT2	FA-5500	現場用キーボードと排他的
2	現場用 キーボード	K / B - 500N	FA-5510N	標準キーボードと排他的
キーボードI/Fバーコードリーダ				
3	バーコードリーダ	BRK - 46B	FA-2451B	CCD読取幅76mm Yケーブル添付 キーボードI/F
4	バーコードリーダ	BRK - 48B	FA-2453B	CCD読取幅90mm Yケーブル添付 キーボードI/F
5	バーコードリーダ	LS2208-KI-DOSV		ハンドヘルドレーザスキャナ キーボードI/F
6	バーコードリーダ	LS3408ER-KI-DOSV		ロングレンジスキャナ キーボードI/F
シリアルI/Fバーコードリーダ				
7	バーコードリーダ	BCR - 45B	FA-2440B	CCD読取幅76mm 変換ケーブル必要
	BCR変換ケーブル(D9 - DIN)	CAB - X03 - R3	FA-5671	0.3m D-sub9メス ~ DIN8メス
8	バーコードリーダ	LS2208-RS-DOSV		ハンドヘルドレーザスキャナ RS232C I/F ACアダプタ付き
9	バーコードリーダ	LS3408ER-RS-DOSV		ロングレンジスキャナ RS232C I/F ACアダプタ付き
USB I/Fバーコードリーダ				
10	バーコードリーダ	LS2208-USB		ハンドヘルドレーザスキャナ USB I/F
11	バーコードリーダ	LS3408ER-USB		ロングレンジスキャナ USB I/F

No	品名	シリーズ名/モデル名	型番	備考
バーコードリーダ設置関連				
12	CCDバーコード 置き台	BCS9049		BCR - 45B, BRK - 46B専用
13	CCDバーコード 壁掛けブラケット	BCB9049		BCR - 45B, BRK - 46B専用
本体設置関連				
14	チルト台	SPTILT - 600		Pleiades FX据え置き用オプション
15	壁掛けキット	WMOUNT - 600		Pleiades FX壁掛け用オプション
ケーブル関連				
16	RS - 232C 直結ケーブル	CBR - C01 - 4R5	FA-5604	クロスケーブル
17	RS - 232C ストレートケーブル	CBR - S01 - 4R5	FA-5614	ストレートケーブル
18	キーボード/マウス分 岐ケーブル	KB/MS - CBL	FA-6602	PS / 2マウスを接続する場合に必要
19	600用CRT変換ケーブル	CRC - X03 - R3	FA-6612	CRT接続用 別途D-sub15pinRGBケーブル必要

2. 製品仕様

2.1. 規格および外観

2.1.1. 規格

外形寸法(mm)			質量 (Kg)	操作 / 保守スペースMin(mm) (壁掛け設置の場合)			
幅	奥行き	高さ		上面	下面	左	右
315	45	247.5	約3	0	300	0	150

(注1) 寸法、質量 : 基本部のみ(ACアダプタ含まず)

(注2) 保守スペース : 下面 - ケーブル取り出し口
右面 - PCカードスロット

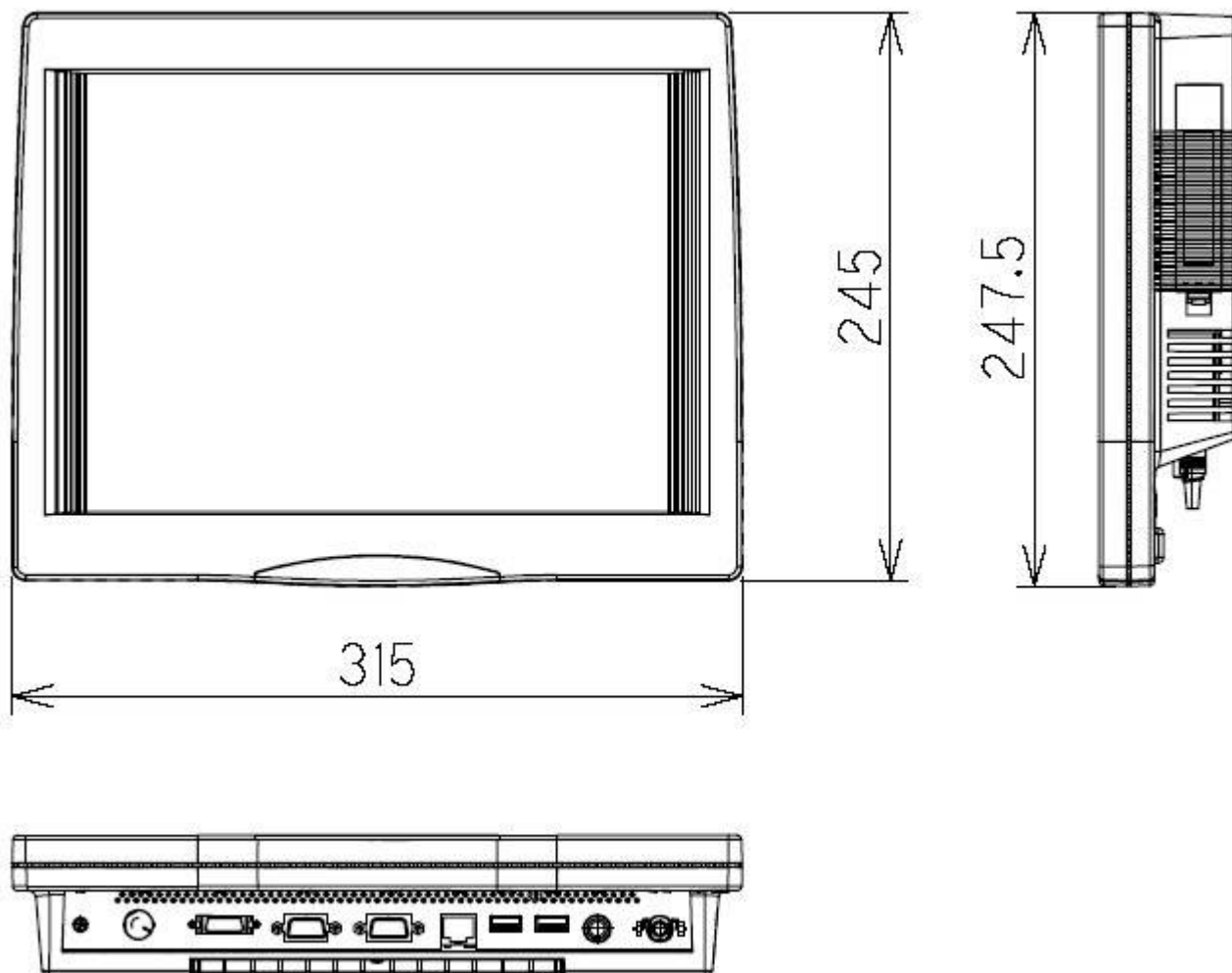
電源条件			温湿度条件	
入力電圧(V) (入力変動)	相数	周波数(Hz)	温度(°C)	湿度(%)
AC 100 (AC 90~132)	1 2W+1W	50/60±3	0~40	20~80%

! 本装置はAC 100Vでご使用ください。

消費電力 (VA)	所要コンセント	
	指定	数量
40以下	7A 125V 2極ストレート	1

ACアダプタ仕様					
外形寸法(mm)			質量 (g)	ケーブル長(m)	
幅	奥行き	高さ		ACアダプタ~ 本体用ケーブル	ACアダプタ~ コンセント用ケーブル
72	120	27	400 以下	約2	約2

2.1.2. 外觀



Pleiades FX 外觀圖

2.2. 本体仕様

項目	仕 様
	FMT-600FX512
CPU	Celeron、1GHz
OS	WindowsXP Professional
メモリ	512MB
内蔵ディスク	SSD:16GB
画面表示	12.1" TFTカラーLCD SVGA : 26万色 輝度 : 約300cd 表示ドット数: 800×600
タッチパネル	抵抗膜アナログ方式
ネットワーク	10BASE-T/100BASE-TX WOL(Wake up on LAN)機能付き
キーボード I/F	1CH、ミニDIN6PIN、PC/AT互換I/F 109キーボードまたは現場用キーボードを接続 キーボード I/F バージョリダを接続可能
シリアル I/F	COM1:DSUB 9PIN、RS-232C準拠、電源供給可能(9PIN)
	COM2:DSUB 9PIN、RS-232C準拠、電源供給可能(9PIN)
USB I/F	2CH USB2.0準拠
LINE OUT	1CH
MIC IN	1CH
PCカード	TYPE 、 2スロット、カードバス対応
電源	ACアダプタ : AC 100 V

- ❗ ディスクの容量は、今後変更される事があります。また、本表で16GBと記述してありますが、フォーマットを行うと、実際に使用できる容量は、16GBより少なくなります。
- ❗ WindowsXP Professionalのサービスパックは、SP2以降で変更されることがあります。
- ❗ あらかじめ、プリインストールされていたOS以外の動作は、保証いたしません。

2.3. 外付けオプション仕様

項目	仕様
キーボード	
キーボード	機種: K / B - AT2, ミニDIN6ピン(オス) 109キーボード, FMTのPS / 2の口へ接続
現場用キーボード	機種: K / B - 500, ミニDIN6ピン(オス) ABC配列, 72キー, フラットシートキータイプ, 大文字入力(設定変更により、小文字入力・カナ入力可能) IP64相当、入力確認用LED付き、FMTのPS / 2の口へ接続
キーボード I / F バーコードリーダ	ミニDIN6ピン(オス): FMTのPS / 2の口へ接続 ミニDIN6ピン(メス): キーボードへ接続 FMTとキーボードとの間に挟むように接続して併用可能 機種は下記 BRK - 46B + Yケーブル(添付), CCD式, 読取幅 76mm BRK - 48B + Yケーブル(添付), CCD式, 読取幅 90mm LS2208 - KI - DOSV, レーザ式, ハンドヘルド LS3408ER - KI - DOSV, レーザ式, ロングレンジ
帳票入力装置	
RS232C I / F バーコードリーダ	COM1, COM2 (DSUB9ピン)に変換ケーブルを使用して接続(オス) BCR - 45Bの電源はFMTから供給可能 BCR - 45B + 変換(DIN-D9)ケーブル, CCD式, 読取幅 76mm LS2208 - RS - DOSV, レーザ式, ハンドヘルド, ACアダプタ付き LS3408ER - RS - DOSV, レーザ式, ロングレンジ, ACアダプタ付き
USB I / F バーコードリーダ	LS2208 - USB, レーザ式, ハンドヘルド LS3408ER - USB, レーザ式, ロングレンジ
PCカード	
フラッシュカード	ATA用アダプタ付き、コンパクトフラッシュカード 32MB

2.4. 環境条件

項目		仕様	備考
温度	動作	0 ~ 40	
	保存	- 20 ~ 60	
湿度	動作	20 ~ 80%RH	結露無きこと
	保存	20 ~ 80%RH	
耐振動	動作	0.5G(5~50Hz)	
	保存	1G	
耐衝撃	動作	5G	
	保存	10G	
周囲雰囲気		腐食性ガスが無いこと	
浮遊塵埃		特に著しく無いこと	IP30
絶縁抵抗		500VDC、50M 以上	AC~SG(接地端子)間
絶縁耐圧		1.0KVAC、一分間	AC~SG間
耐ACノイズ		0.8KVP-P、50 ~ 1、000ns	AC間
耐静電ノイズ		3KV	
耐AC電源瞬断		20mS	
接地方法		接地用端子にアース(FG)線を接続	M3ネジ
放射ノイズ		VCCI A種	

2.5. 有寿命部品

本装置には、下表の有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や条件によって異なりますが、下表に示すとおりです。

この目安はあくまで目安であって、故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。

なお、ご使用状況によっては、早期にあるいは製品の保証期間内であっても、部品交換(有料)が必要となります。

交換修理は、センドバックとなります。

(センドバックとは、製品を当社カスタマサポートセンタにお送りいただき、当社工場にて修理作業を行うことです。)

部品	寿命	備考
LCDバックライト	50,000時間	25 動作
タッチパネル	100万回	同一箇所を250gで押下時の寿命
SSD	500万回のErase, Write	
ACアダプタ	3年	30 動作
バックアップ電池	5年	時計バックアップ

2.6. 保守期間

本装置の保守期間は、製造中止後5年です。

3. 各部の名称とはたらき

3.1. Pleiades FX FMT-600 本体

(外観・規格は、第2章 2.1 外観および規格を参照ください。)

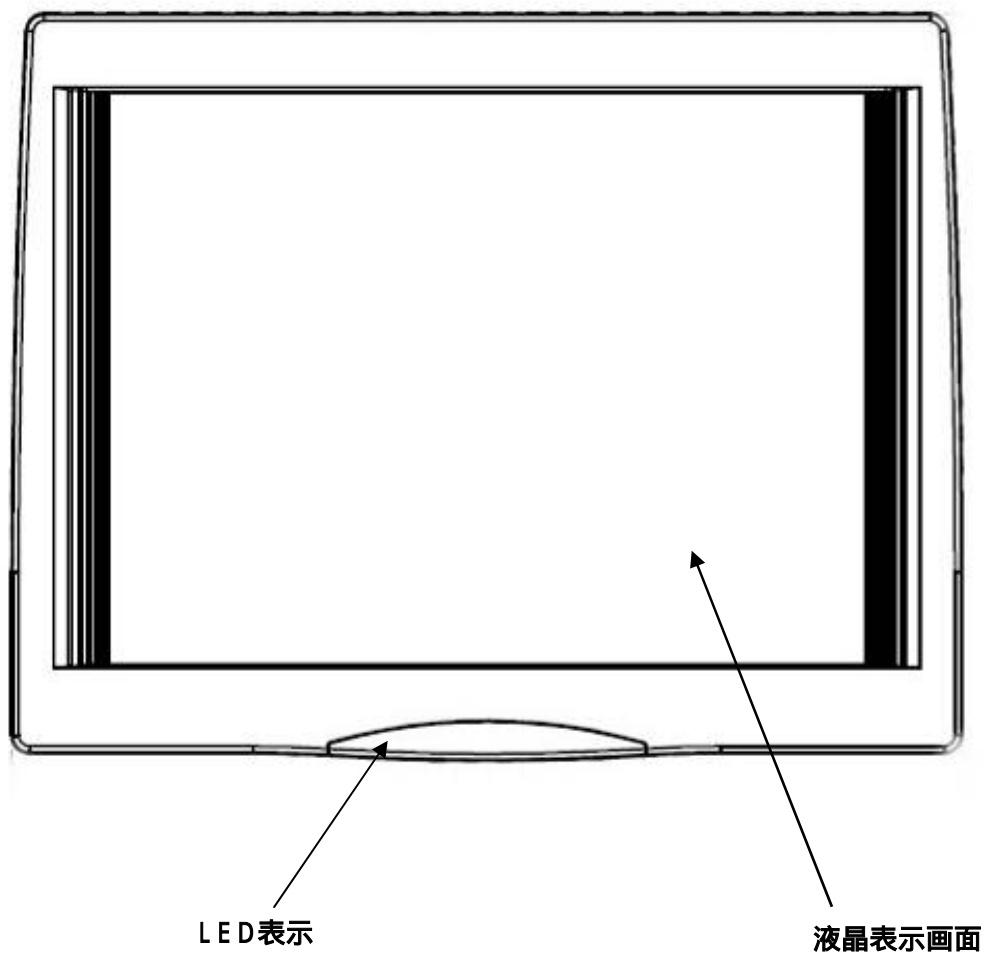


図3 - 1 装置正面

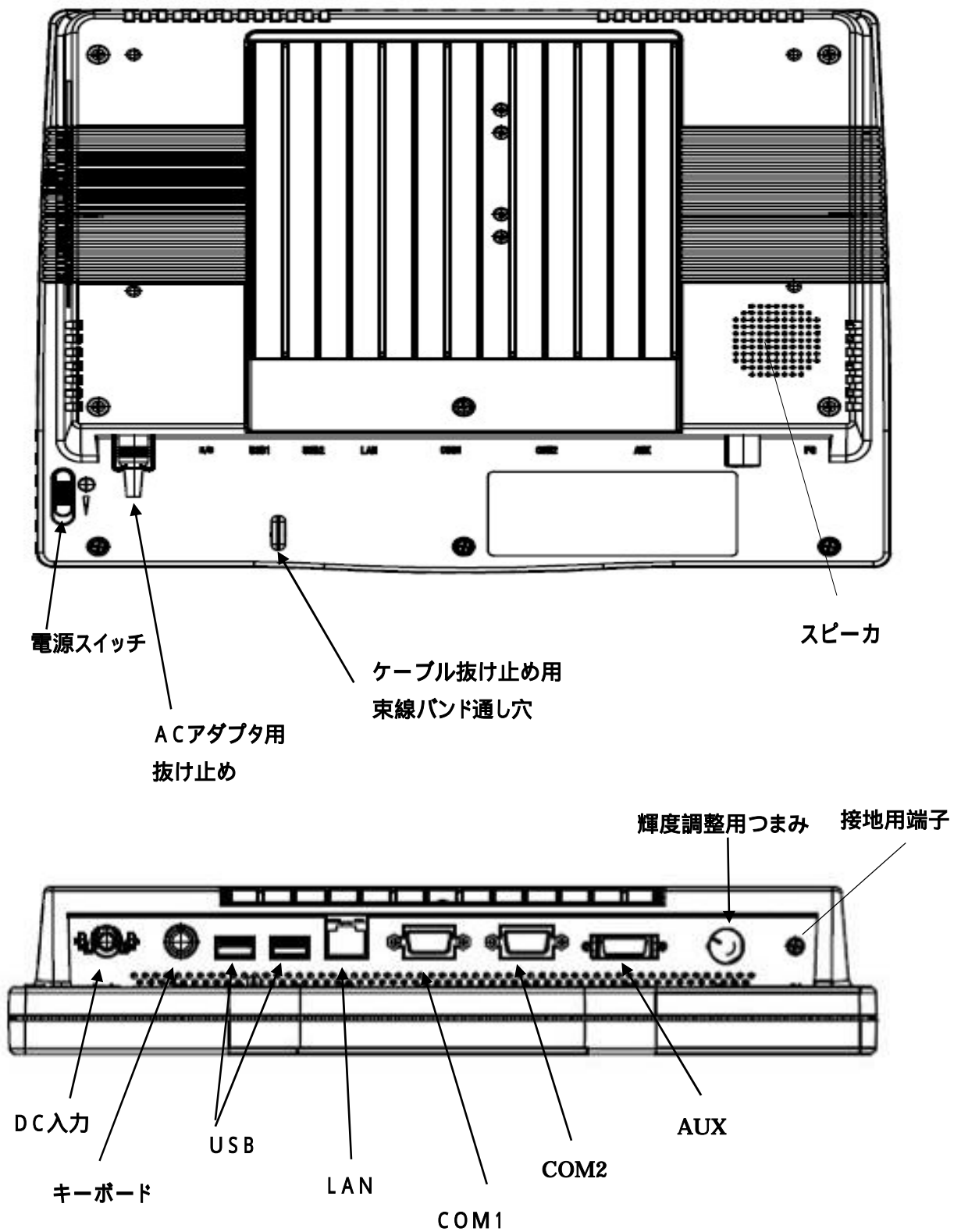


図3 - 2 装置背面および底面

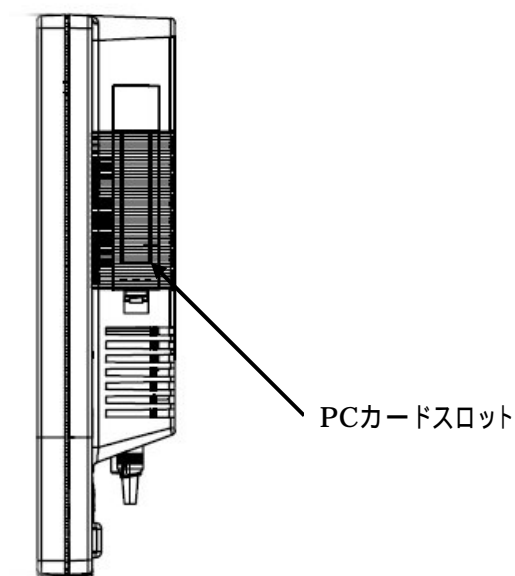


図3 - 3 装置側面

3.1.1. ACアダプタ

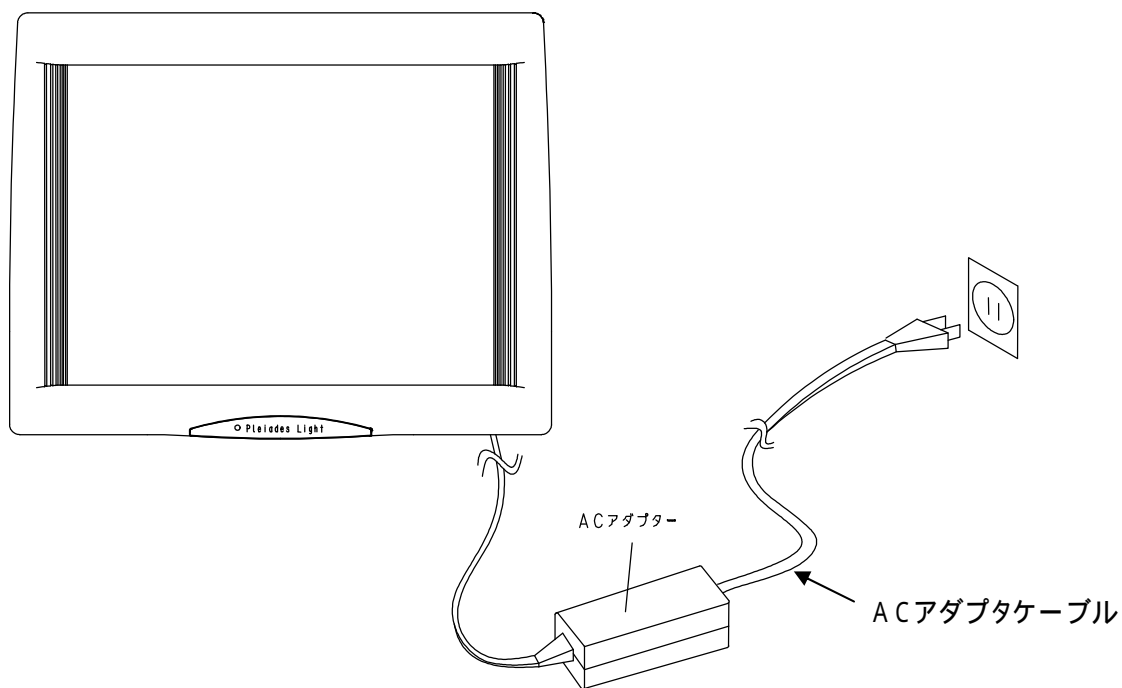


図3 - 4

ACアダプタケーブルをACアダプタに差し込み電源プラグをコンセントに差し込みます。
(コンセントの形状は、2極ストレートです。)本体側のケーブルは図3 - 2 のコネクタに差し込みます。
本体にACアダプタケーブルを接続したら、ACアダプタ挿入口にある抜け止め金具をケーブルにロックし、
ACアダプタケーブルが抜けないようにしてください。

3.1.2. 電源スイッチ(図3 - 2)

本装置の電源スイッチは、電源OFFの状態、下にスライドすることにより電源がONします。電源がONの状態では、下にスライドすることにより、Windowsのシャットダウンが行なわれます。電源スイッチは、手を離すと元の位置に戻ります。

何らかの原因で、シャットダウンができなかった場合、6～7秒間電源スイッチを操作したままにすると電源はOFFします。

3.1.3. 液晶表示部

本装置の液晶表示部です。



一部に常時点灯あるいは点灯しない画素が存在することがあります。
明点(常時点灯する画素)と黒点(点灯しない画素)の総数が10個以内であれば、故障ではありません。なお詳細な規格は、お問合せください。

3.1.4. LED表示

以下の状態を示します。

消灯: ACアダプタが接続されていない。ACアダプタが電源コンセントに差し込まれていないため、DC電源が供給されていない。もしくはACアダプタからDC電源が供給されているが、装置の電源が入っていない。

緑: 電源が投入されていることおよび、ディスクアクセス中ではない状態。

橙と緑の交互点灯: ディスクのアクセス中。

緑点滅: スタンバイ中

3.1.5. タッチパネル

タッチパネルは抵抗膜式アナログタッチパネル(分解能:800×600)を使用しています。タッチパネルの寿命はタッチパネルの同一箇所を250gで押下して、100万回までです。

3.1.6. 各種接続コネクタ

接続コネクタの名称とピンアサインの説明を記します。オプション周辺機器の接続方法は「3.2 オプションの接続と説明」を参照してください。

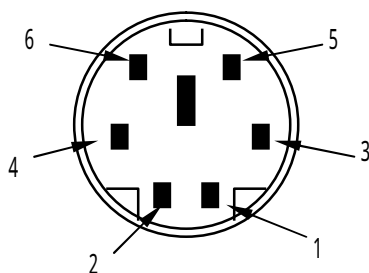
! コネクタに所定のもの以外の機器を接続すると、装置の故障の原因となります。

キーボードコネクタ

現場キーボード(K/B - 500N、オプション)、109キーボード(K/B - AT2、オプション)を接続するためのコネクタです。

使用コネクタ:ミニDIN6ピン(メス)

適合コネクタ:ミニDIN6ピン(オス)



ミニDIN 6ピン メス

図3 - 5 コネクタ図

表3 - 2 キーボードコネクタピンアサイン表

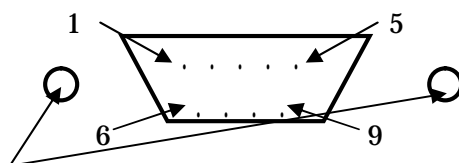
端子番号	信号名	意味	信号方向
1	DATA+	データ	I/O
2	NC	リザーブ	
3	GND	グラウンド	I/O
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	
6	NC	リザーブ	

シリアルポートコネクタ

シリアルポート規格の外部機器と接続するためのコネクタです。COM1とCOM2があります。

使用コネクタ: D - sub 9ピン オス (勘合固定台 : インチネジ(4 - 40))(本装置側)

適合コネクタ: D - sub 9ピン メス (勘合固定ネジ: インチネジ(4 - 40))



勘合固定台: インチネジタイプ

Dsub 9ピン オス

図3 - 6 コネクタ図

表3 - 3 シリアルポートコネクタピンアサイン表

端子番号	信号名	意味	信号方向
1	DCD-	受信キャリア検出	I
2	RXD+	受信データ	I
3	TXD+	送信データ	O
4	DTR-	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR-	データセットレディ	I
7	RTS-	送信要求	O
8	CTS-	送信可	I
9	+5V	+ 5 V電源供給 (注1)	O

注1: バーコードリーダなどを接続した時に本装置から電源を供給することができます。

電源供給は常に有効となっています。

未使用時は、このピンに接続しないで下さい。また、9ピンはRI(Ring Indicator)として使用することはできません。

電源供給は、COM1とCOM2の2チャンネルを併せて900mAまでです。



通電中にはコネクタのピンには触れないでください。

10BASE - T / 100BASE - TXコネクタ

LANに接続するためのRJ - 45タイプモジュージャックコネクタです。

10BASE - T、100BASE - TXの仕様にあった正規のUTPケーブルを接続してください。

推奨ケーブル

-) 10BASE - T : カテゴリー3以上のUTPケーブル
-) 100BASE - TX: カテゴリー5以上のUTPケーブル

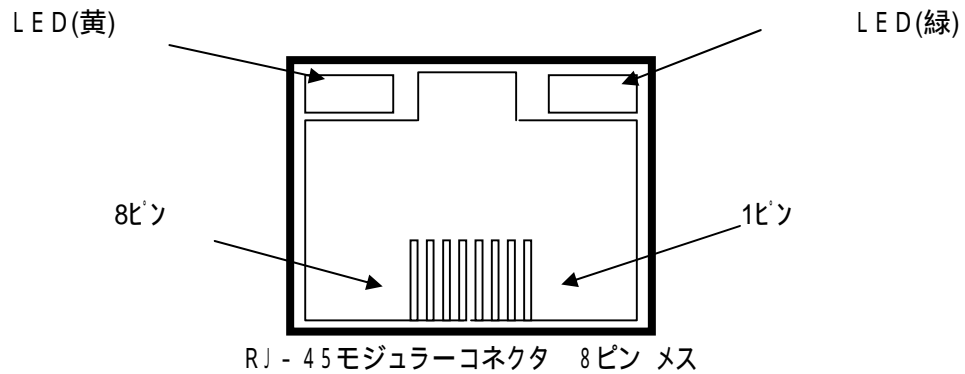


図3 - 7 コネクタ図

表3 - 4 10BASE - T / 100BAE - TXピンアサイン

端子番号	信号名
1	TX+
2	TX-
3	RX+
4	NC
5	NC
6	RX-
7	NC
8	NC

LEDの説明

-) LED(緑): LANケーブルがHUBに接続され、リンクが確立している場合に点灯します。
-) LED(黄): 回線に送受信データがある場合に点灯し、データがない場合に消灯します。

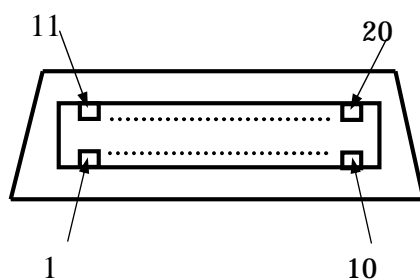
AUXコネクタ

PleiadesFXから外部CRTへの接続および外部への音声出力、外部からのマイク入力を行うためのコネクタです。

使用コネクタ: ハーフピッチコネクタ20ピン(レセプタクル)

適合コネクタ: ハーフピッチコネクタ20ピン(プラグ)

〔 3M 10120 - 3000VE (プラグ)相当品
10320 - 52F0 - 008(シェル)相当品 〕



ハーフピッチ 20ピン レセプタクル

図3 - 8 コネクタ図

表3 - 5 AUXコネクタピンアサイン表

端子番号	信号名
1	AGND
2	MICL
3	MICR
4	AGND
5	LOUTL
6	LOUTR
7	AGND
8	(RSV)
9	(RSV)
10	CRTGND
11	R
12	CRTGND
13	G
14	CRTGND
15	B
16	GND
17	HSYNC
18	VSNC
19	DDC CLK
20	DDC DAT

USBコネクタ

USB機器を接続するためのコネクタです。2ポートあります。

使用コネクタ:USBコネクタ(Aタイプ オス)(本装置側)

適合コネクタ:USBコネクタ(Aタイプ メス)

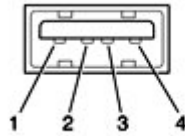


図3 - 8 コネクタ図

表3 - 5 USBコネクタピンアサイン表

端子番号	信号名	意味
1	VCC	+5VDC
2	D -	データ -
3	D +	データ +
4	GND	グラウンド

USBコネクタの下にケーブル抜け止め用タイラップを通すための通し穴があります。

この通し穴を使って接続機器のケーブルを付属のタイラップで固定してください。

ケーブルの抜けが防止できます。

特に使用環境が厳しい場合は、ケーブルをタイラップに一回転して固定してください。

3.1.7. PCカードスロット

PCカードスロットは、2スロットあります。(カードバス対応。)

PCカードのカバーは抜き差しするとき以外は、カバーを必ず取り付けてください。

カバーの取り扱いは3 - 18ページを参照してください。

3.1.8. スピーカー

PleiadesFXの背面には、ブザーや音声出力用のスピーカーを装備しています。

スピーカーの音量調整は、コントロールパネルから設定を行ってください。

また、外部スピーカーを使用する場合はAUXコネクタのLOUTL, LOUTR信号にアクティブスピーカーを接続してください。外部スピーカーの音量調整は、内部スピーカーと連動していますので内部スピーカーの音量調整に伴い外部スピーカーの音量も変化します。

本スピーカは、主に操作上のアラーム音や操作ガイド用の音を鳴らすように設計されています。音楽(特に低音)の場合で、音量を上げた場合、聞き苦しい場合があります。この場合は音量を下げてください。

3.1.9. 接地用端子



アース用端子です。M3ネジが付いていますので、M3用ラグ端子を持つワイヤでアースに接続してください。
(第3種接地)

使用環境にノイズの影響がある場合やCOMコネクタ等を通して他の機器に接続する場合には本装置を接地することを推奨いたします。

3.1.10. 輝度調整用つまみ

LCDの輝度調整用のつまみです。時計回りにまわすと明るくなり、反時計回りにまわすと暗くなります。

3.2. オプションの接続と説明



ケーブルを外す時は、ケーブルを引っ張らずにコネクタ部をつかんで抜いてください。
コネクタを抜く時は、コネクタのピンを曲げないように真っ直ぐに引き抜いてください。



ケーブルは、コネクタの形状や向きを確認して正しく接続してください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり曲がったりします。また接続は本体の電源をOFFにして行ってください。

3.2.1. 109キーボード

(1) 109キーボードの説明

本装置は109キーボード(オプション)を1台接続できます。

(2) キーボードの接続の方法

PleiadesFXの電源をOFFにして、キーボードコネクタ(図3 - 2)にキーボードの差し込みコネクタの矢印をPleiadesFX背面に合わせキーボードを接続してください。コネクタをしっかりと奥まで差し込みます。

キーボードコネクタのそばにケーブル抜け止め用タイラップのための通し穴があります。

この通し穴を使ってキーボードのケーブルを付属のタイラップで固定してください。

ケーブルの抜けが防止できます。

(USBに接続機器がある場合はUSBのケーブルもいっしょに固定してください)

3.2.2. K / B - 500N

PleiadesFXは、現場作業用キーボードとして当社製品のK / B - 500N(オプション)を接続することができます。

K / B - 500Nはシートカバー付き、アルファベット順のキー配列の現場作業向けのキーボードです。

K / B - 500Nは、キーボードコネクタに接続します。

K / B - AT2(109キーボード)とK / B - 500Nは排他的な関係になります。

K / B - 500Nの詳細については、K / B - 500N添付の取扱説明書を参照願います。



キー入力の操作において先のとがった硬いもの(ボールペンなど)で入力しないでください。キーボードカバーが破損する可能性があります。

3.2.3. シリアルポートへの接続

(1) シリアルポートの仕様

PleiadesFXは各種外部機器との接続のため汎用のシリアルポートを2チャンネル内蔵しています。シリアルポートは一般的にCOM1、COM2のように「COM」に番号がついた形で指定します(COMはCOMMunicationの略)

シリアルポートのデフォルト識別名はCOM1とCOM2です。

シリアルポートのコネクタ図、ピンアサインは第2章2.1.5を参照してください。

シリアルポートコネクタの9ピンからは、+5Vの電源供給が行なわれています。

表3 - 7 シリアルポートの仕様

項目	仕様
コネクタ	Dsub9ピン オス
シリアルコントローラ	16550互換
割り込み	COM1,COM2とも有り
チャンネル数	2チャンネル
同期方式	調歩同期式
通信方式	全2重
通信速度	50 ~ 115200bps
データビット	5 / 6 / 7 / 8ビット
ストップビット	1 / 1.5 / 2ビット
パリティ	なし / 偶数 / 奇数
電源供給	+5V Max300mA(出力ピン:9ピン)

通信速度は、シリアルポートのみを実行する場合には115200bpsまで可能ですが、通常、他のデバイス(キーボード、ネットワーク、タッチパネルなど)にもアクセスすることが一般的ですから、システムによって通信可能なスピードが異なります。従ってシステム評価時、十分に評価を行ってください。

(2) 外部装置との接続方法

PleiadesFXのシリアルポートへ接続する場合は、オプションとして用意しているケーブルを使用してください。

(表1 - 2 オプション一覧 参照)

シリアルポートのコネクタ ピンアサインは、3.1.6 を参照してください。

- ❗ 本装置にオプション以外のRS - 232Cケーブルを接続する場合、ケーブルにコアを1ターンして、付けてください。コアは図3 - 11のように付けて下さい。コアはSEIWAのE04SR241336Aを推奨します。コアをつけないで使用した場合、電波妨害を引き起こす恐れがあります。



- ❗ 本装置では、シリアルポートコネクタのGND信号と装置のグラウンド、およびシリアルポートコネクタのシールドが内部で接続されています。本装置と他の装置を接続する際、相手方のGND信号とシールド線間に電位差(電圧)がないことを確認の上接続してください。異常な電圧がある場合、本装置の故障や焼損の原因になります。
- ❗ シリアルポートコネクタにケーブルを接続しない場合は、必ず添付のコネクタ保護カバーを装着してください。

PleiadesFXと外部機器との接続例を、図3 - 12に示します。

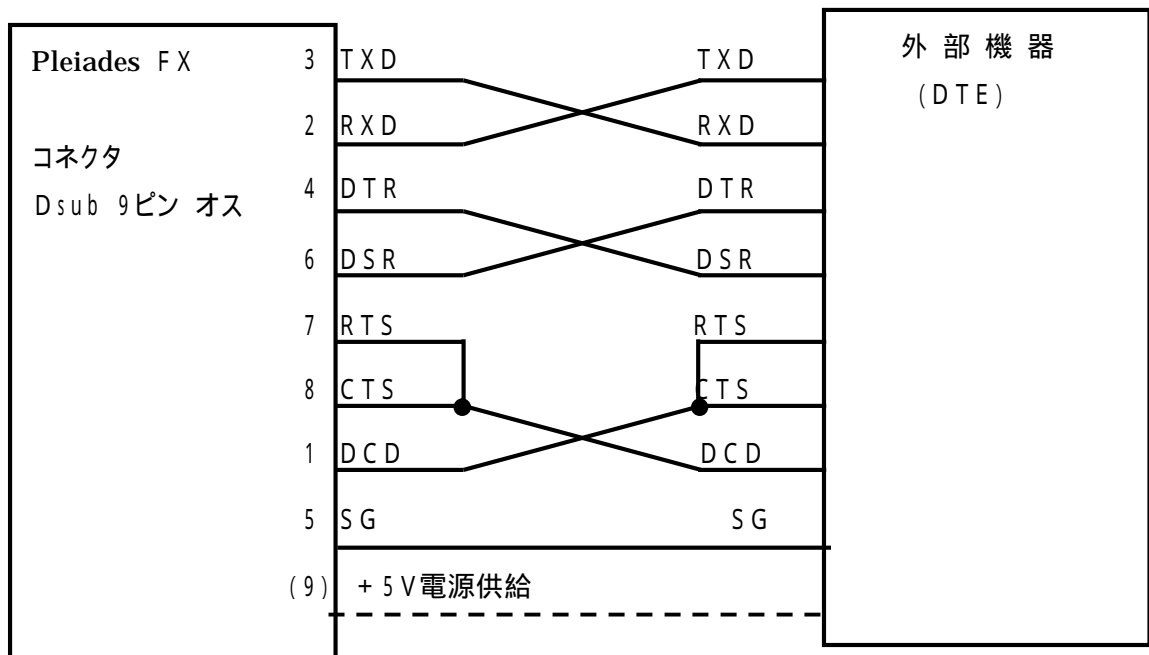


図 3 - 12 PleiadesFXと外部機器とのクロス接続例

PleiadesFXへ、RS - 232Cケーブルを接続する手順を以下に示します。

<手順>

PleiadesFXの電源をOFFします。

RS - 232CケーブルのコネクタをPleiadesFXのシリアルポートコネクタ
(図3 - 2)に挿し込み、固定ネジを締めてください。

3.2.4. 帳票入力装置(バーコードリーダー)

PleiadesFXは、帳票入力装置として当社製品のバ - コ - ドリ - ダ(BCR)を接続することができます(オプション)。

BCR - 45Bの場合、接続方法はPleiadesFXのシリアルポートコネクタにBCR変換ケーブルを接続し、そのケーブルにバーコードリーダーを接続します。BCR - 45Bを接続する場合にはシリアルポートコネクタから電源供給をします。

LS2208 - RS - DOSVやLS3408ER - RS - DOSVの場合、PleiadesFXのシリアルポートコネクタにバーコードリーダー添付のケーブルを接続します。バーコードリーダーには、バーコードリーダー添付のACアダプタにより電源を供給します。

(1) BCR - 45Bの接続方法

PleiadesFXのシリアルポートコネクタCOM1またはCOM2(図3 - 2)にBCR変換ケーブル(Dsub9ピン - DIN8ピン)接続し、そのケーブルの先にBCR - 45Bを接続します。

<手順>

PleiadesFXのシリアルポートコネクタ(Dsub9ピン)にBCR変換ケーブル(Dsub9 - DIN8)を接続します。

BCR - 45BをBCR変換ケーブルの丸DIN8ピンのコネクタに差し込みます。

コネクタの向きに注意してください。

バーコードリーダーの詳細については、各バーコードリーダー添付の取扱説明書を参照願います。

3.2.5. キーボードI/Fバーコードリーダー

PleiadesFXとキーボードとの間に挟むように接続して併用可能なバーコードリーダー(オプション)です。キーボードを使用しない場合でも、コネクタ形状が異なる為バーコードリーダーに付属のYケーブルが必要となります。バーコードリーダーのケーブルの抜け防止のため、USBコネクタの下にある通し穴を使ってバーコードリーダーのケーブルを付属のタイラップで固定してください。キーボードI/Fバーコードリーダーの詳細については、各バーコードリーダー添付の取扱説明書を参照願います。

3.2.6. LANケーブル

(1) 10BASE-T / 100BASE-TXの接続方法

PleiadesFXの電源をOFFにします。

10BASE-Tコネクタに10BASE-Tまたは100BASE-TX用のUTPケーブルのモジュラープラグをRJ-45モジュラジャックに”カチッ”と音がするまで挿し込みます。

(2) 10BASE-T / 100BASE-TX切り替え機能

10BASE-T / 100BASE-TXの切り替えは接続したHUBからのキャリアを認識し、自動的に選択されます。

(3) LED(図3-8)

10BASE-Tコネクタ口の左右にLEDが付いています。

(緑)・・・LANケーブルがHUBに接続され、リンクが確立している場合に点灯します。

(黄)・・・回線上に送信 / 受信データがある場合に点灯し、データが無い場合に消灯します。

(4) LANご使用における注意事項

LANの伝送品質はケーブルやHUBの性能に左右される場合があります。従いましてご利用する環境で十分評価の上ご使用頂けますようお願いいたします。特に100BASE-TXは100MHzと高速な信号を扱うため下記の注意事項をご確認ください。

100BASE-TX用ケーブルの規格

カテゴリ5以上のUTPケーブル

その他

工場現場などノイズの発生が予想される場合は避けてご使用ください。

3.2.7. PCカード

本装置はPCカードスロットを2つ内蔵(仕様:表3 - 8参照)しています。
オプションのカードはスロット1、スロット2どちらに挿入しても使用できます。

表3 - 8 PCカードスロット仕様

項目	仕様 / 規格
規格	PCカード (カードバス対応)
スロット数	2スロット タイプ ~ を2枚使用、またはタイプ を1枚使用可能
供給電源	+5V、+3.3V



カードをお使いになる場合は、お客様で十分ご評価の上ご使用ください。

コンパクトフラッシュカードに関する注意



コンパクトフラッシュには書き込み回数の制限があります。同一セクタに対しての書き込みは通常10万回までです。コンパクトフラッシュに対して何度も繰り返しデータの書き込みをするような用途に使用するには書き込み寿命を考慮した上でご使用ください。

無線LANカードに関する注意



無線LANカードを使用した場合はアンテナが装置から飛び出してしまうため防塵規格のIP30準拠の仕様が満足できなくなりますのでご注意ください。

(1) PCカードカバーの取り扱い

装置右側面のカバーを外すと、PCカードスロットが2スロットあります。

スロット番号は画面側がスロット1、背面側がスロット2です。

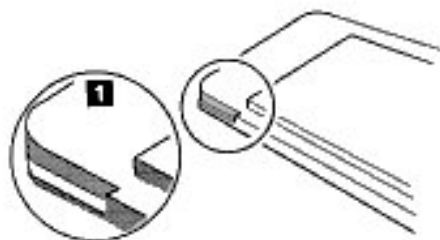
カバーの取り外し方

カバー下側のロックを指で上に上げてカバーを手前に取り外してください。


カバーの取り付け方

カバー上側を先に引っ掛け、取り付けてください。

カバーは「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。



(2) カード挿入方法

イラストのように、カードの切り込み上図  のある側をPleiadesFX背面の向きになるようにしてスロットに挿入します。

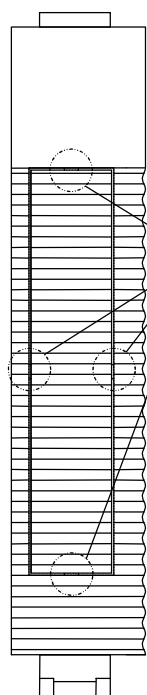
正しく挿入するとスロット横の取り出しボタンが飛び出します。

(3) カードの取り出し方法

スロット横にある取り出しボタンを押します。カードが少し出ますから、そのまま抜き取ります。

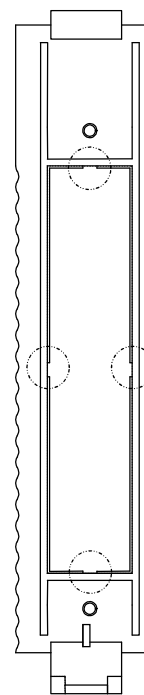
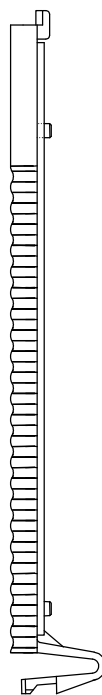
(4)無線LANカードについて

無線LANカード使用時には、アンテナ部分がPCカードカバーに当たり、そのまま使用できません。下記の要領でカバー中央部をくりぬいてください。



カバーの爪(4ヶ所)を折ってくり貫いてください。

正面より



背面より

3.2.8. CRTディスプレイ

PleiadesFXはCRTディスプレイを接続して表示することが可能です。

ディスプレイ用ケーブルを接続する場合、ディスプレイ側のアナログRGBコネクタは15ピンタイプを使用してください。またオプションのCRT変換ケーブル(CRC-X03-R3)が必要です。

15ピンのRGBケーブルにCRT変換ケーブルを接続し、それをPleiadesFXのAUXコネクタに接続します。21ピンタイプのコネクタは使用できません。

CRTへの表示はLCDと同じSVGAモードしか対応できませんのでご注意ください。

CRT変換ケーブルの接続信号表

PleiadesFX側コネクタCN1

CRTケーブル側コネクタCN2

ハーフピッチ20ピン

Dsub15ピン

コネクタ勘合面から見た図

コネクタ勘合面から見た図

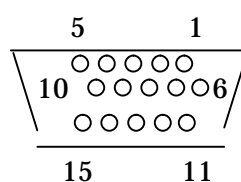
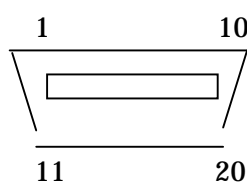


表3 - 9 CRT変換ケーブルコネクタピンアサイン

CN1	CN2	CN3	CN4	信号名
1	-	-	-	
2	-	-	1	MICL
3	-	-	2	MICR
4	-	-	3	AGND
5	-	1	-	LOUTL
6	-	2	-	LOUTR
7	-	3	-	AGND
8	-	-	-	
9	-	-	-	
10	6	-	-	RED GND
11	1	-	-	RED
12	7	-	-	GREEN GND
13	2	-	-	GREEN
14	8	-	-	BLUE GND
15	3	-	-	BLUE
16	10	-	-	GND
17	13	-	-	HSYNC
18	14	-	-	VSYNC
19	15	-	-	DDCクロック
20	12	-	-	DDCデータ

3.2.9. LINE OUT / MIC IN

PleiadesFXには、LINE OUTとMIC INの端子があり、外部スピーカーやマイクを接続することが可能です。

接続する場合は、オプションのCRT変換ケーブル(CRC-X03-R3)が必要です。

ケーブル側のコネクタは、F3.5ステレオインラインプラグです。

CRT変換ケーブルのLINE OUT側コネクタ: CN3

MIC IN側コネクタ: CN4

使用プラグ: テイシン電機 J - 92

ピンアサイン表は、表3 - 9を参照ください。

3.2.10. USB

PleiadesFXはUSBインタフェースが2チャンネルあります。

(1) 仕様

項目	仕様 / 規格
規格	USB Ver2.0準拠
ポート数	2ポート
供給電源	DC + 5V MAX500mA (2ch併せた容量)
過電流保護機能	有り

(2) サポート機器について

弊社から提供するオプション品以外を使用する場合には事前に十分ご評価願います。

(3) 注意事項

USBケーブルについて

USBの規格ではケーブル長はフルスピードモード(12Mbps)で5mまで、ロースピードモード(1.5Mbps)で3mまでと定められています。規格より長いケーブルを使用するとシステムが不安定になる、または周辺機器が正しく動作しない場合がありますので注意してください。

USB機器の接続数について

USBはUSBハブを使用することにより複数のUSB機器を接続できますが、複数のUSB機器を接続するとシステムが不安定になる、または周辺機器が正しく動作しない場合がありますので注意してください。また、USBの電源をPleiadesFX側から供給できるのは2チャンネルあわせて500mAまでとなっています。外部電源(ACアダプタなど)を持っておらず、PleiadesFXから電源供給しなければならない機器を接続の場合にはご注意ください。よってUSB機器の接続は1~2台までを推奨いたします。

(5) USBケーブルの抜け止め

PleiadesFX背面のUSBコネクタ下側に抜け止め用通し穴があります。この通し穴を使ってUSBケーブルを付属のタイラップ(束線バンド)で固定してください。

4. 装置の設置

4.1. 設置環境

- ❗ 極端に風通しの悪い場所での使用、極端に高温・低温の場所での使用や保管は避けてください。
- ❗ 直射日光の当たる場所、発熱する器具のそば、極端に湿度の高い場所、ほこりの多い場所などでの使用や保管することは避けてください。
- ❗ 寒い屋外から急に暖かい室内に持ち込みますと、結露が生じ故障の原因になることがあります。
- ❗ 強い磁界が発生するような装置の近くで使用しますと、本装置に雑音が入り正常動作しないことがあります。このような場合、本装置を強い磁界が発生する装置から離し、別のコンセントをご使用ください。
- ❗ 装置を設置する場合は、装置の傾きが45度以上の角度になるようにしてご使用下さい。装置をねかせ過ぎた場合、背面ヒートシンクによる放熱が十分にされず、故障の原因になることがあります。また、背面ヒートシンクや、装置の通気孔を、紙や布などの冷却効果を妨げるもので覆わないで下さい。

・ACアダプタに関する注意事項

- ❗ ACアダプタおよびACアダプタの電源ケーブルは人が踏んだりつまずいたりする恐れのある位置や断線の恐れのある位置に設置しないでください。
- ❗ ACアダプタは通気性の良い場所に設置してください。紙や布など、冷却効果を妨げるものでACアダプタを覆わないでください。
- ❗ 付属の専用ACアダプタ以外は使用しないでください。その他のACアダプタやバッテリーパックなどを使用すると火災や破壊の恐れがあります。

4.2. 壁掛け設置



壁掛け設置の際に行います、壁掛けプレートの壁面への設置は十分な技術、技能を有する取付業者が施工することを前提としております。

また、設置に使用しますネジ類は壁面の構造、材質、強度及び設置環境を確認して、最適のものを使用する必要がありますので、施工業者の選定となります。

4.2.1. 壁掛けの準備

(1) スタンド付属品の確認と工具、壁掛けプレート取り付けネジを用意
付属品(1セットの数量)

- ・ 壁掛け専用プレート …… 1個
- ・ 壁掛け金具 …… 1個
- ・ 壁掛け金具取り付け用ネジ(M4×10mm) …… 4本
- ・ 背面ブラケット …… 1個
- ・ 背面ブラケット取り付け用ネジ(M4×14mm) …… 4本

お客様でご用意いただくもの

(工具)・“+”ドライバー(#2)

(ネジ)・壁掛けプレート取り付け用ネジ(M4相当) …… 5本

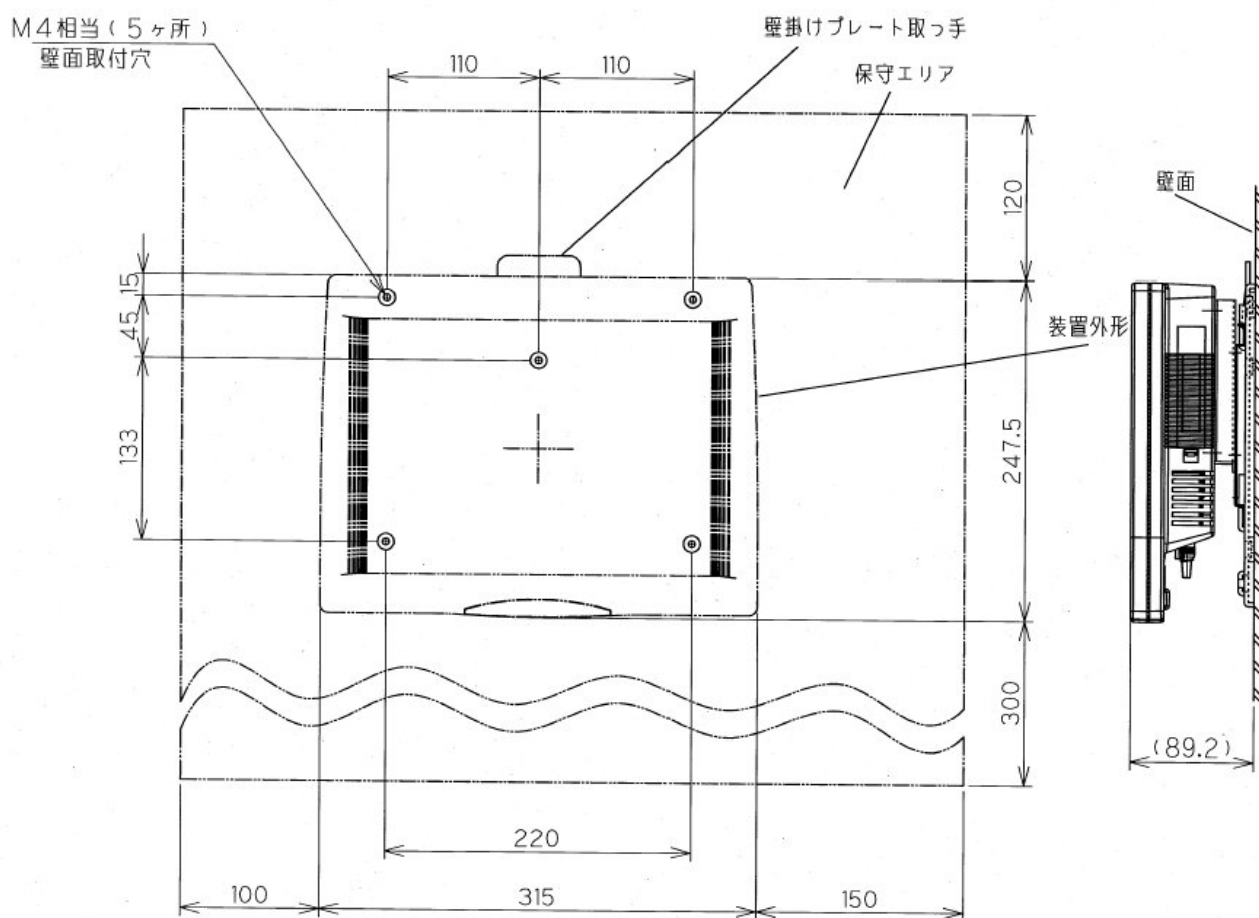
壁掛けプレート取り付け用ネジは、付属品としてご用意しておりません。

お客様で設置環境に合ったネジをご用意願います。

なおネジはM4相当を5本必要となります。

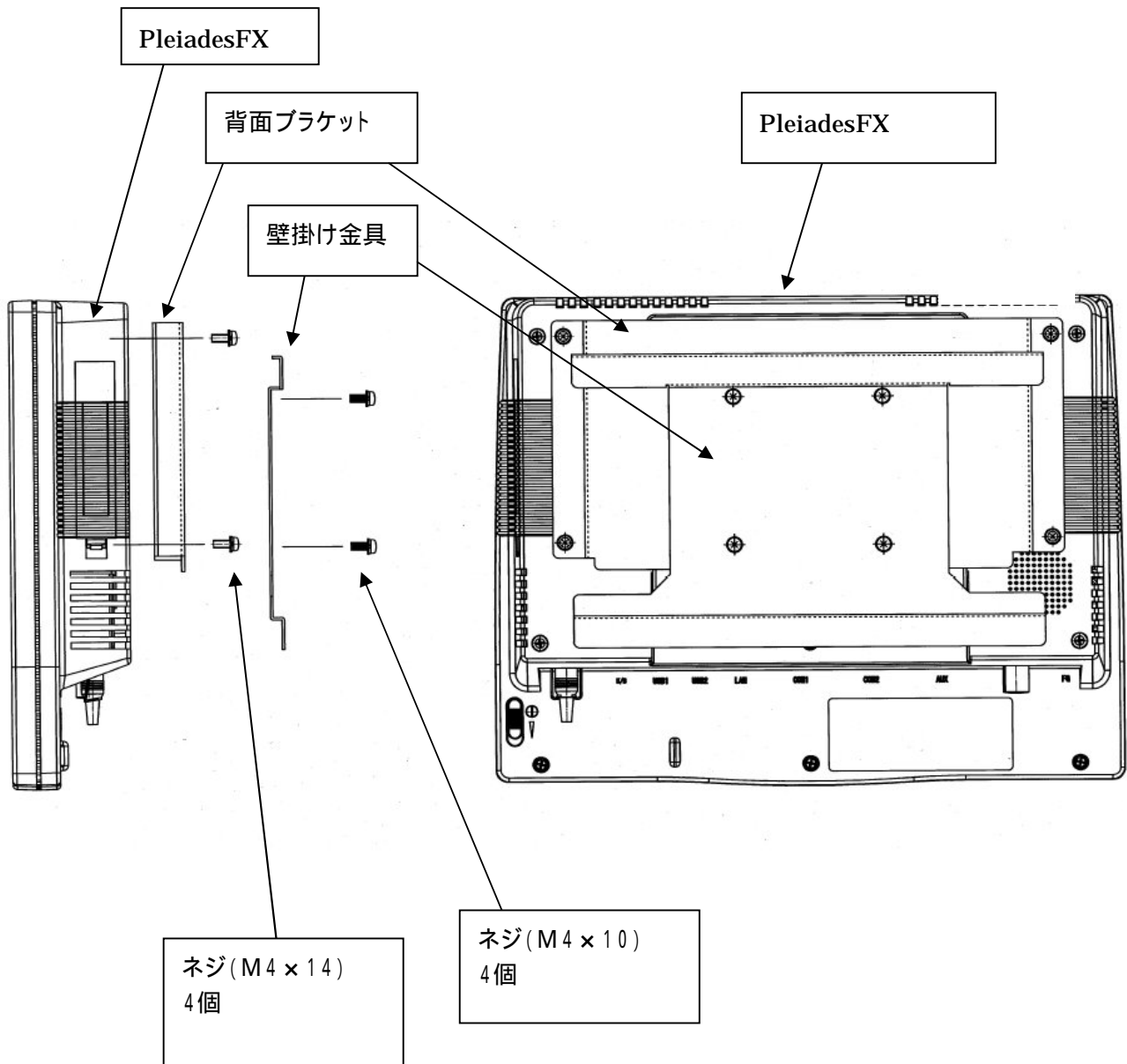
4.2.2. 壁掛けプレートの設置

(1) 壁掛けプレート取り付け見取り図および保守エリア



4.2.3. 壁掛け金具を装置へ取り付け

- (1) 装置裏側へ背面ブラケットをネジ(4本)で取り付けます。
- (2) 背面ブラケットに壁掛け金具をネジ(4本)で取り付けます。

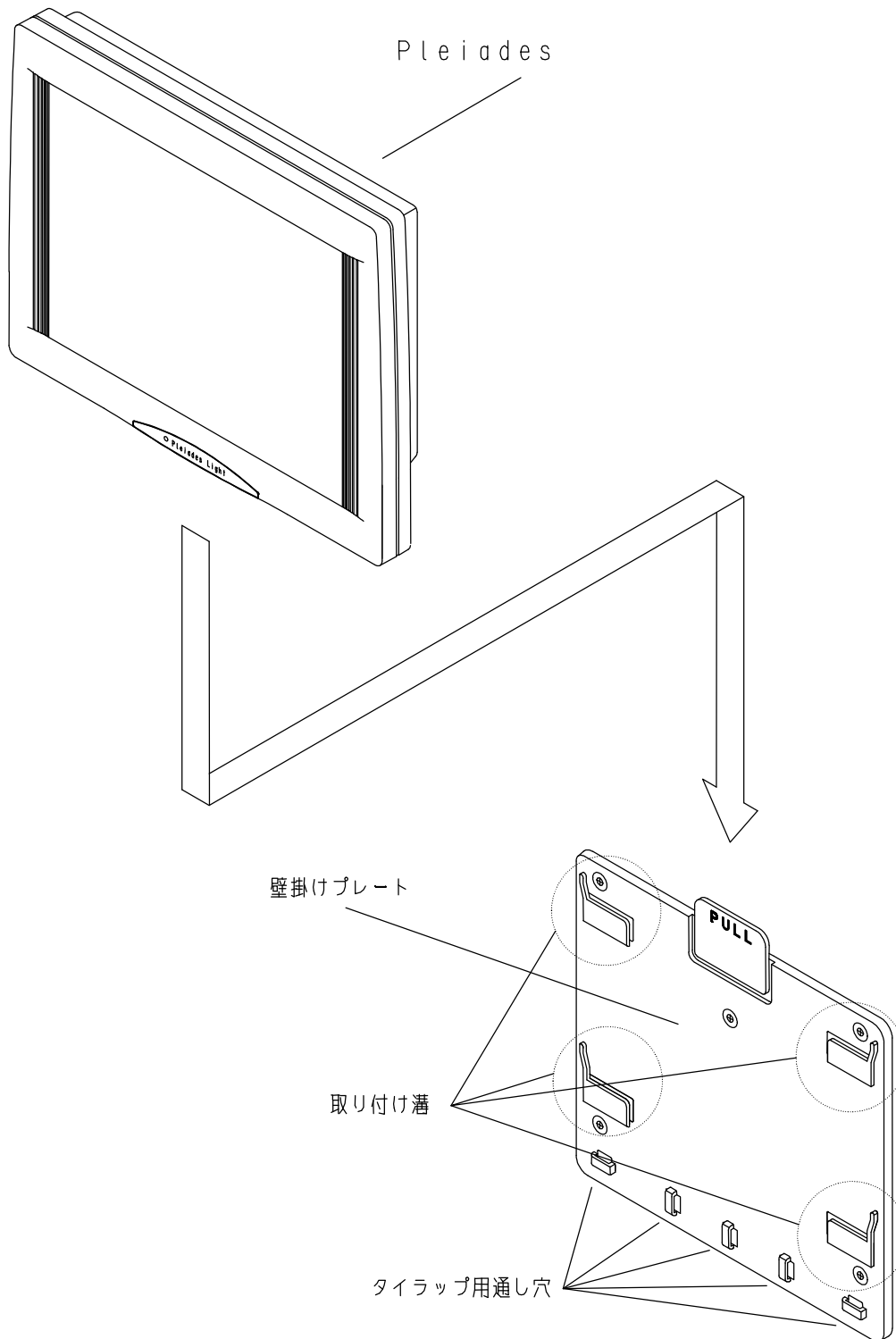


4.2.4. 壁への設置

- (1) 壁掛け金具を取り付けた装置を壁掛けプレートの取り付け溝に装置を水平にして上部からスライドして取り付けます。

またタイラップ通し穴は、装置からの外部ケーブルをまとめる際にご使用ください。なお壁掛けプレート用タイラップは付属していませんので、お客様でご用意願います。

装置を壁掛けプレートから取り外すときは、壁掛けプレートの「PULL」と記入してある場所を手前に引きながら装置を上方へスライドして持ち上げます。





注意

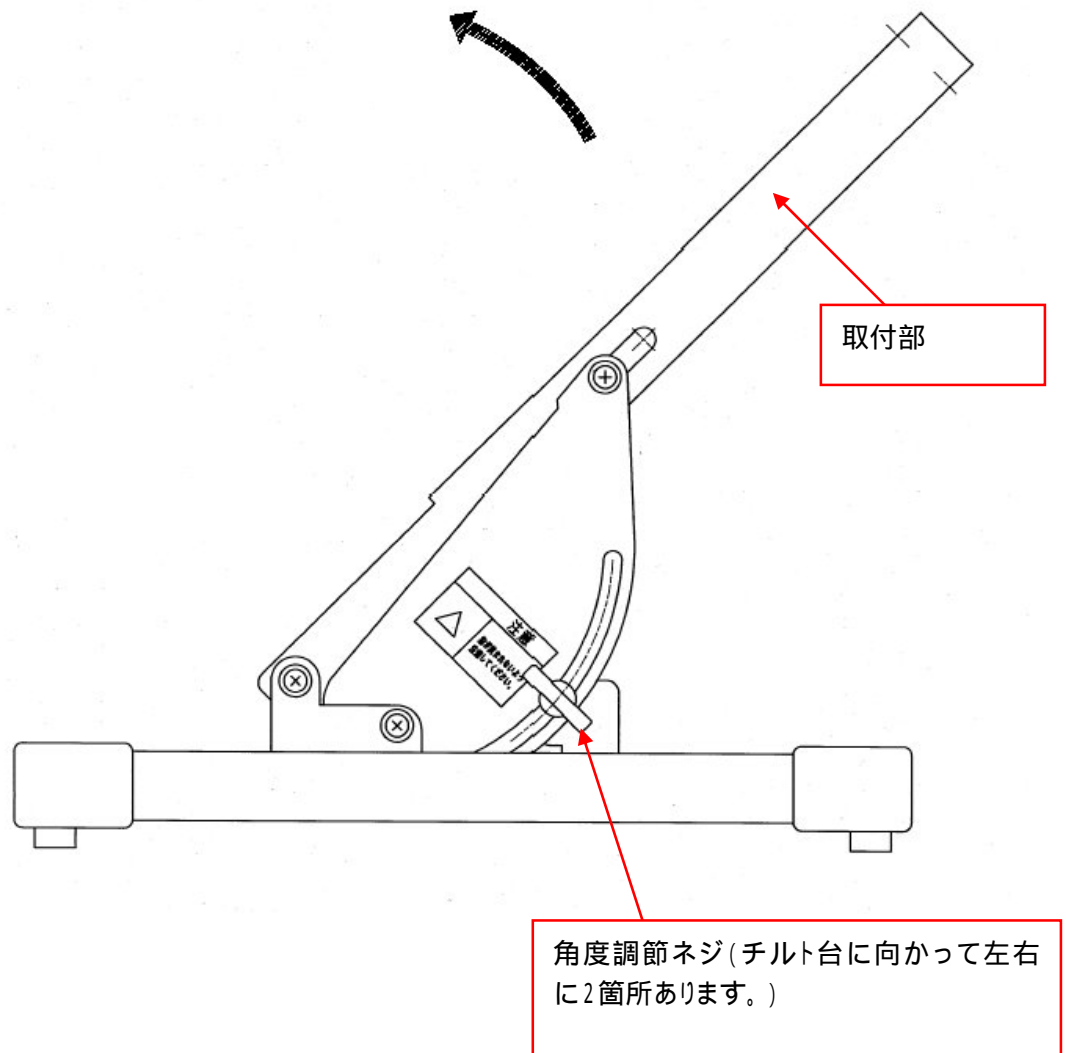
壁掛け設置する際は、壁掛けプレートが水平になっていることを確認してください。また装置が壁掛けプレートに確実に取り付けられていることを確認の上、手を離してください。

4.3. チルト台への設置

据え置きの場合、チルト台へ設置を行ないます。

4.3.1. チルト台準備

角度調節ネジ(2箇所)をゆっくり緩めて、取付部を垂直に立てた後、角度調節ネジを締めて固定してください。



注意

角度調節ネジを2箇所同時に緩めると、取付部が急に立ち上がり、思わぬケガをする恐れがあります。角度調節ネジは1箇所ずつ順番に緩め、2箇所目を緩める際は、取付部を手で支えながら行い、取付部をゆっくり垂直に立ててください。

(1) チルト台付属品の確認と工具を用意

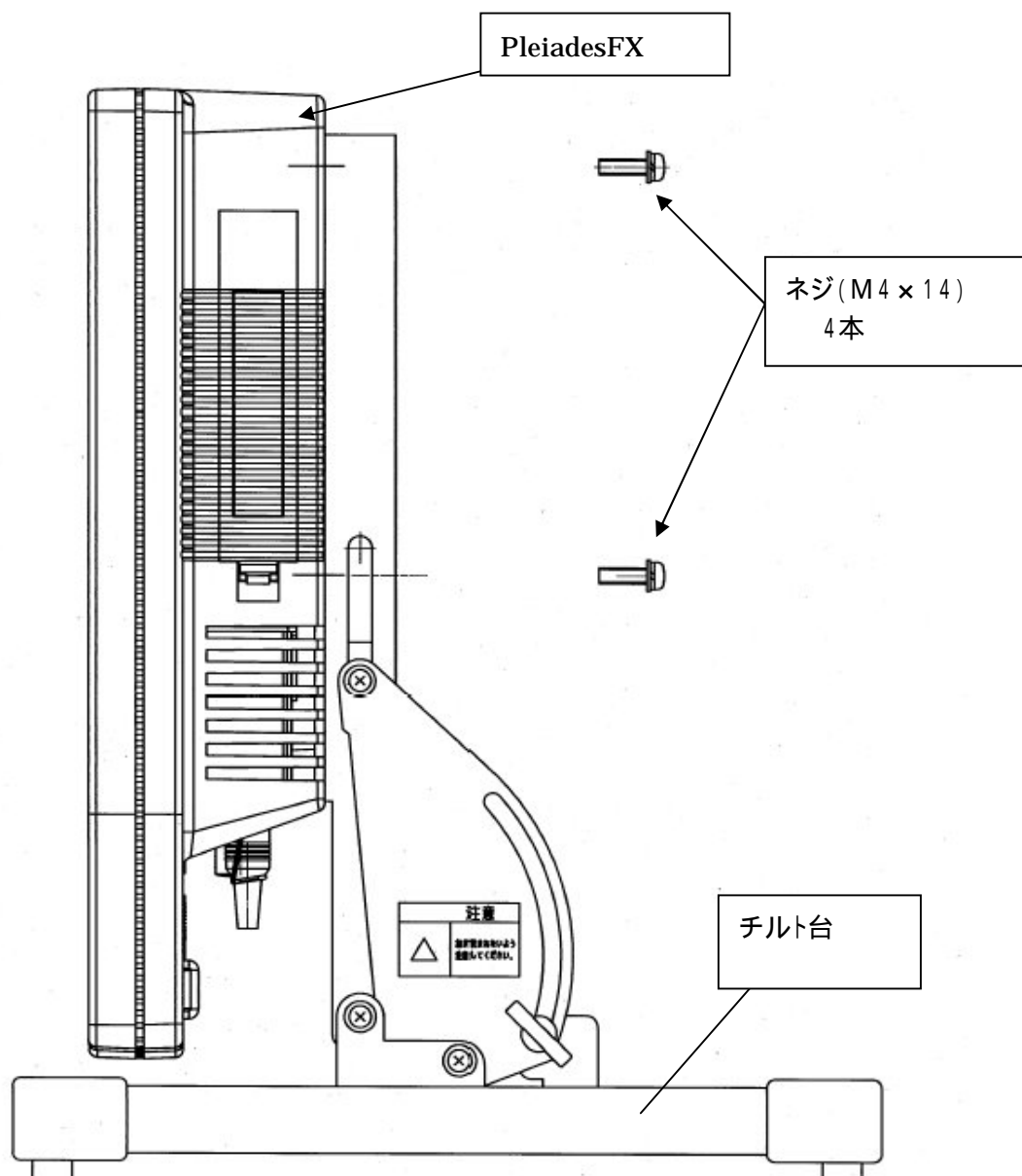
付属品(1セットの数量)

- チルト台 … 1個
 - Pleiades FX取り付け用ネジ(M4×14mm) … 4本
- 用意する工具
- “+”ドライバー(#2)

(2) チルト台準備

角度調節ネジ(2箇所)を緩めて、取付部を垂直に立てます。(上図を参照)
角度調節ネジを締め、取付部を固定します。

4.3.2. Pleiades FXへの取り付け



注意

けがをする恐れがありますので、角度調節ネジ(2箇所)は必ず締めた状態で取り付けてください。

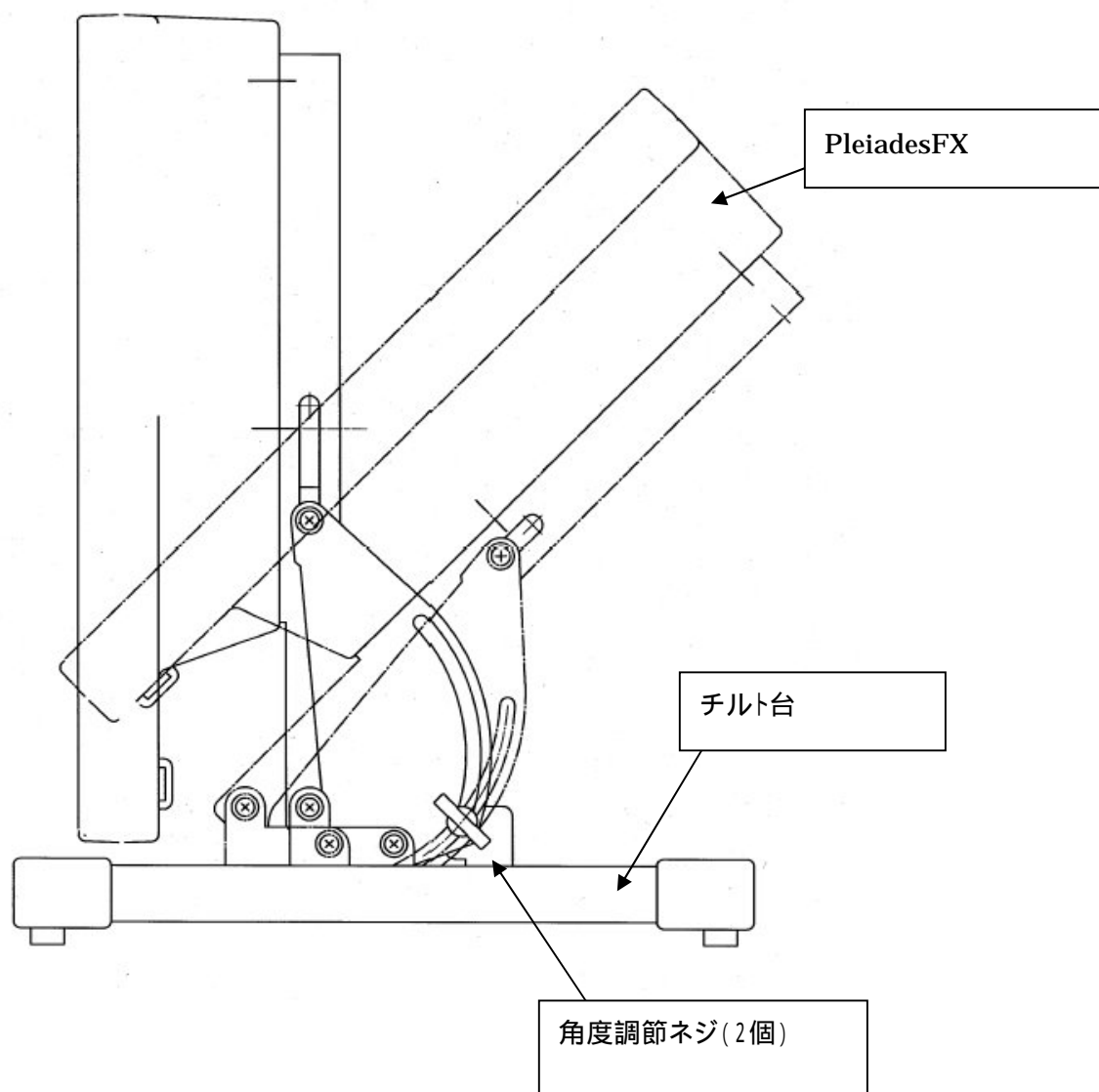


注意

装置のチルト台への取り付け時、角度調節時および設置時などにチルト台および装置本体へ体重をかけたり、上に重いものを乗せたりは絶対にしないでください。装置が破損するだけでなく、ケガをする恐れがあります。

- (1) チルト台への取り付け
Pleiades FXの背面取付ネジ穴とチルト台取付部の穴位置を合わせて、ネジ(4箇所)で固定してください。
ネジは「M4 x 14mm」(チルト台添付品)を使用してください。

4.3.3. チルト台角度調節



- (1) チルト台左右の角度調節ネジをゆるめ、角度調節を行います。
角度調節後、しっかりと角度調節ネジを締めてください。



注意

角度調節の際、Pleiades FXとチルト台の間に手を入れないでください。ケガをする恐れがあります。

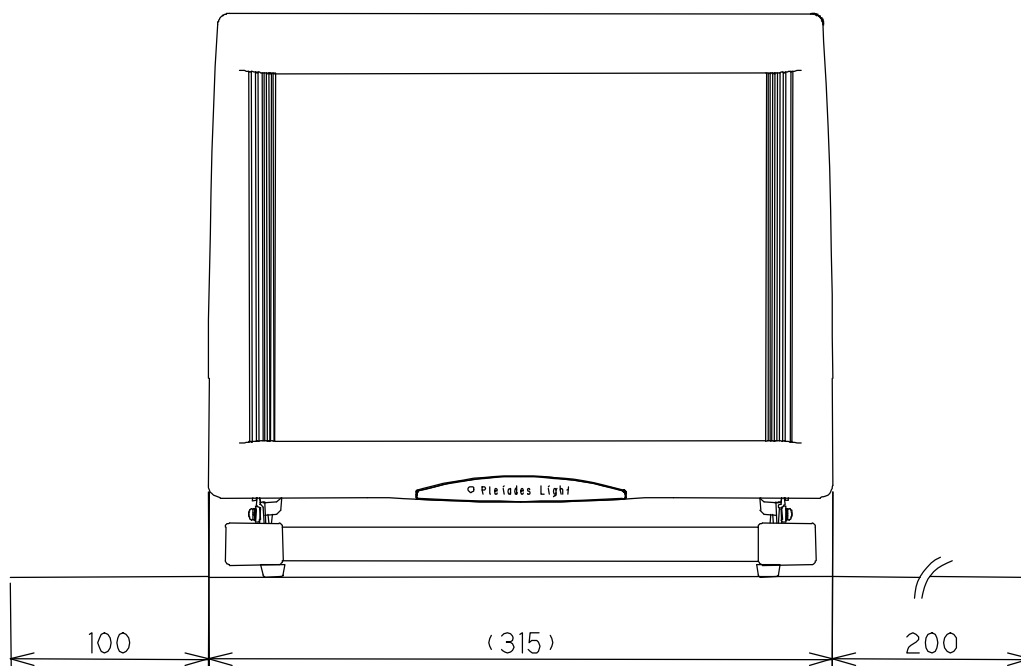


注意

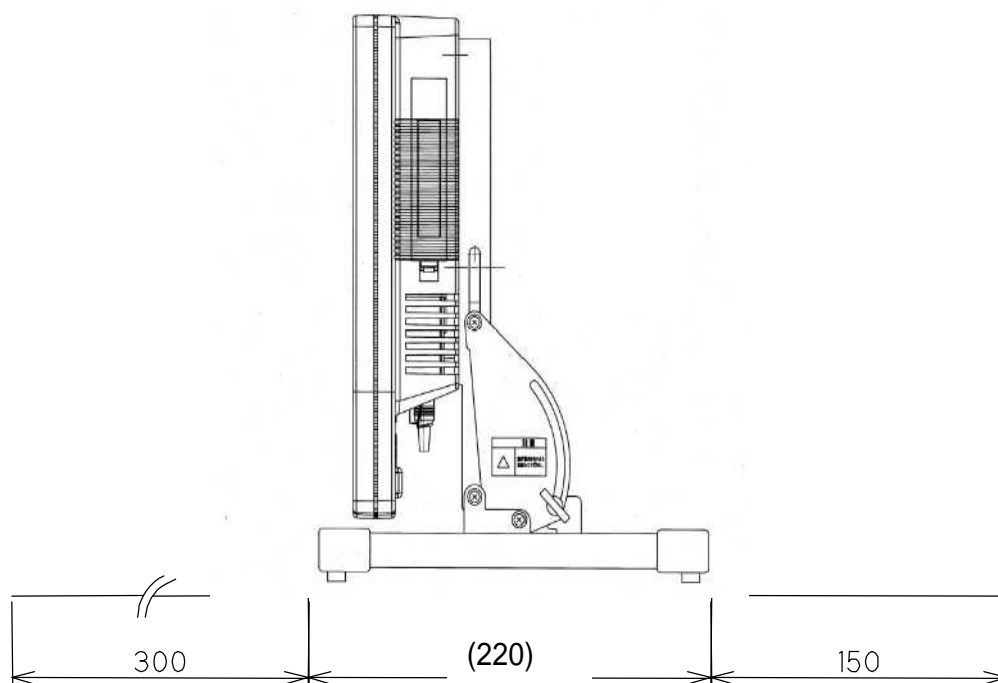
角度調節の際、Pleiades FXの角度を鉛直に対して約45度以上傾けないで下さい。本チルト台は約45度以上角度を傾けることができないように、角度を制限しております。

4.3.4. 保守スペース

下図の通り保守スペースを確保願います。また本体下方には熱源等を設置しないで下さい。



左右方向保守スペース



前後方向保守スペース

5. ソフトウェアの設定

5.1. 接続

設置が完了したならば、本装置と周辺装置を接続します。

周辺装置を接続してから、添付のACアダプタを本装置に接続し、電源プラグをコンセントにつなげます。

周辺機器との接続ケーブルおよびACアダプタのケーブルは、ケーブル同士が絡んでコネクタから外れたり、強いストレスを受けてケーブル内部で断線したりしないように、注意してください。

5.2. システムのセットアップ

はじめて電源をONにしてセットアップを行なう場合は、次の手順でセットアップをして下さい。

USBポートにUSBキーボードとマウスを接続するか、PS/2ポートにキーボード/マウス分岐ケーブルを接続し、PS/2キーボードとマウスを接続します。

電源スイッチを押して、本装置の電源をONにします。

オペレーティングシステム(Windows XP)が表示する画面に従って、セットアップを行なってください。なお、Windows XPのライセンスラベルは、装置背面に貼り付けてあります。プロダクトキーの入力を求められた時は、装置背面を見てください。

本装置の場合、Windowsのライセンス認証が必要です。必ずライセンス認証を行なってください。



キーボードやマウス、キーボード/マウス分岐ケーブルは、お客様で用意してください。

5.3. ドライバのバックアップ

本装置に特有な各種ドライバは、あらかじめインストール済です。またドライバは内蔵ディスクの、「c:\¥xp_driver」というフォルダに入っています。この内容をCD-Rなどに保存しておいてください。何らかの理由で、オペレーティングシステムの再セットアップを行なう場合に必要になります。



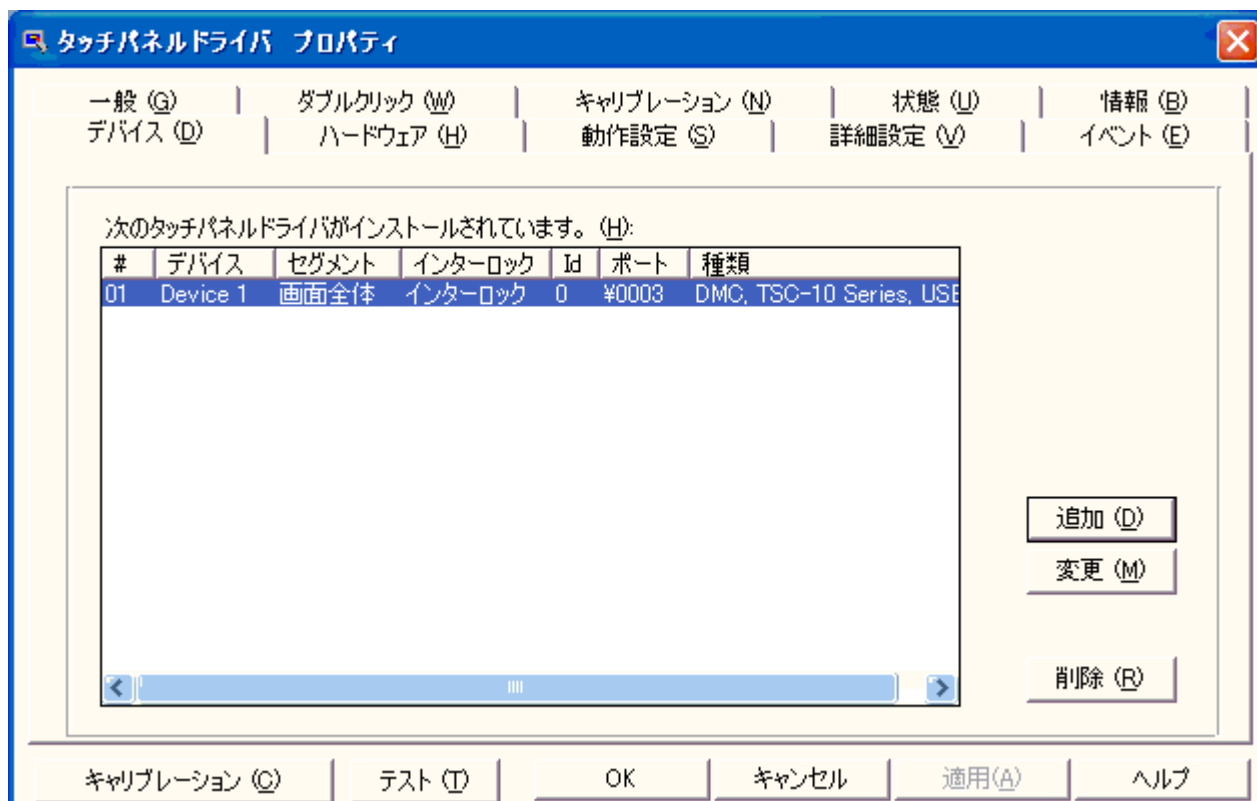
CD-RW装置やCD-R媒体は、お客様で用意してください。

5.4. 各種設定

5.4.1. タッチパネルのキャリブレーション

タッチパネルのキャリブレーションは、以下の手順で実施してください。

「コントロールパネル」の「タッチパネルドライバ」をダブルクリックし、表示された「タッチパネルドライバのプロパティ」の左下の「キャリブレーション」をクリックします。





Device 1

矢印の先端または十字の中央をタッチしてください
タッチ入力がない場合、キャリブレーションは中止されます。
10秒以内に
キャリブレーションを中止するには、キーボード上のEscキーを押してください。

表示される赤い点を、指先などで押さえます。(キャリブレーションを行います)

完了後「OK」をクリックします。もう一度「OK」をクリックして、「タッチパネルドライバのプロパティ」を閉じます。



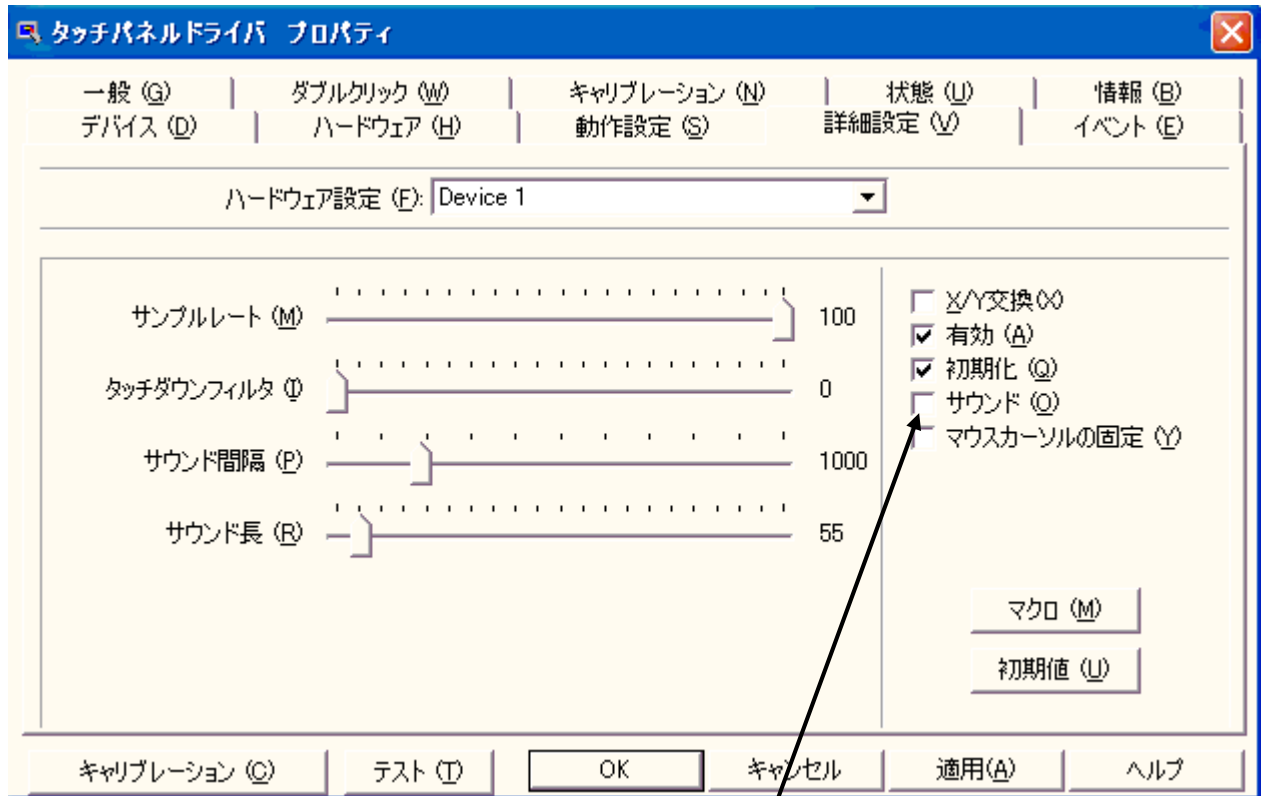
先のとがったもので、タッチパネル押さないで下さい。タッチパネルが破損することがあります。

5.4.2. タッチパネルのタッチ音の設定

タッチパネルのタッチ音は、以下の手順で実施してください。

「コントロールパネル」の「タッチパネルドライバ」をダブルクリックし、表示された「タッチパネルドライバのプロパティ」の「詳細設定を」をクリックします。

「詳細設定」のサウンドのチェックボックスをクリックしてONにします。



このチェックボックスをクリックしてONにする。

! タッチ音は、サウンドボリュームを変更しても、一定の音が出力されます。たとえ「ミュート」でもタッチ音は出力されます。

5.5. 再セットアップ

WindowsXPの再セットアップの手順について説明します。

5.5.1. 準備

再セットアップを行なうと、本装置のシステムを初期状態に復旧させることができますが、SSDに保存している内容は消えてしまいます。再セットアップが必要かどうかよく確認してから、始めてください。

本装置には、WindowsXP ProfessionalのCD-ROMが添付されていますが、OSを除くバックアップCD-ROMは付属していません。定期的に本装置にあるSSD内の大切なデータを、バックアップしておいてください。

また、「c:\xp_driver」というフォルダ配下のドライバ類は、再セットアップに必要なになるので、必ずバックアップを取っておいてください。

準備するもの

- WindowsXP Professional CD-ROM
- あらかじめバックアップした「XP_Driver」フォルダが保存されているバックアップ媒体
- USB CD-ROMドライブ
- キーボード(USBもしくはPS/2)
- マウス(USBもしくはPS/2)
- PS/2マウスの場合はキーボード/マウス分岐ケーブル

5.5.2. 再セットアップ

下記の手順でセットアップを行ないます。

- FMT-600本体に、CD-ROMドライブとキーボード、マウスを接続します。
- CD-ROMドライブにWindowsXP Professional CD-ROMをセットします。
- 本体の電源を投入します。
- 「Press any Key to boot from CD…」と表示されたら、Enterキーを押します。
- 「セットアップへようこそ」画面が表示されたら「セットアップ開始」を選択します。
- 以後は、画面の指示に従ってセットアップを行ないます。

5.5.3. ドライバの設定

WindowsXPのインストールが完了したならば、本装置特有のドライバをインストールします。

- CDROM装置に、あらかじめバックアップしておいた、FMT-600ドライバCDをセットし、CDのXP_Driver フォルダの内容をフォルダごとCドライブにコピーします。
- WindowsXPのドライバをインストールします。手順は下記のとおりです。

(a) マイコンピュータからボリュームC、XP_Driverを順次ダブルクリックし、「infnst_autol」をダブルクリックします。以後は、画面に表示されるガイドに従って、「次へ(NEXT)」もしくは「はい(YES)」、「完了」をクリックします。

(b) 同様に「win2k_xp149」をダブルクリックします。以後は画面のガイドに従い、「次へ(NEXT)」もしくは「はい(YES)」、「完了」をクリックします。

(c) 同様に「pro2kxp」をダブルクリックする。以後は画面のガイドに従い、「NEXT」、「Install Drivers」をクリックします。インストールが完了したら、「Exit」をクリックします。

(d) 同様に「30852」フォルダの「UPDD」フォルダのSetupをダブルクリックします。以後はガイドに従って「承諾」、「次へ」「完了」をクリックします。途中の「タッチパネルドライバの選択」では、「DMC,TSC-10 Serial, USB」を選択します。

(e) 同様に「W9867181」フォルダのSetupをダブルクリックします。以後はガイドに従って「次へ」「完了」をクリックします。

(f) 5.4.1項を参照して、タッチパネルのキャリブレーションを行ないます。

(g) 5.4.3項を参照して、ハードディスクの電源を5分で切るように設定してください。

保証書

本製品に故障が生じた場合下記の保証規定に基づいて修理させていただきます。

なお、修理を依頼される際には本頁をコピーし、以下の項目にご記入の上修理品に添付してください。

お買い上げ日	年 月 日
フリガナ	
会社名	
部署名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	
電 話	
F A X	

製品名	
シリアルNo.	
・製品名、シリアルNo. は必ずご記入ください。	
お買い上げ方法	直接購入 その他
(当社より直接購入の場合は以下空欄)	
販売会社名・住所	
電話番号	印

保証規定

本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。保証期間以内に正常なご使用状態で、万一故障した場合は無償で修理させていただきます。

保証期間はお買い上げ月日から1年間です。

保証期間中でも次の場合は有償で修理させていただきます。

1. 使用上の誤りおよび当社以外の者による改造、修理に起因する故障、損傷の場合
2. 火災、塩害、ガス害、異常電圧および地震、雷、風水害その他天災地変等による故障、損傷の場合。
3. 当社の定める標準品以外の機器を接続し、当該機器に起因して本製品に故障を生じた場合。
4. 説明書に記載した方法および注意に反するお取り扱いによって生じた故障の場合。
5. 本保証書を提示されない場合。

本製品に生じた故障に関して、当社は本保証書に基づく無償修理以外の責任を負いません。

本保証書は国内で使用される場合だけ有効です。

この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。

したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お問い合わせ先

日本アビオニクス株式会社

ソリューションプロダクツ事業部 カスタマサポートセンター

〒253-0103 神奈川県高座郡寒川町小谷2-1-1

フリーダイヤル 0120-175411

(9:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日を除く)

メール support_IT@avio.co.jp

Pleiades FX

FMT - 600FX (SSD)

ユーザーズマニュアル

2008年 7月 7日 第1版

日本アビオニクス株式会社

〒141-0031

本社 東京都品川区西五反田8 - 1 - 5

五反田光和ビル

TEL(03)5436 - 0600(代表)

©NIPPON AVIONICS CO., LTD.

日本アビオニクス株式会社の許可なく複製・改編などを行うことはできません。

また、本書の内容は、改編の為、予告なく変更することがあります。

